

平成26年度

事業報告書

(自) 平成26年4月1日

(至) 平成27年3月31日

社会福祉法人 北海道リハビリ-

目 次

1	事業実施概要	1
2	事業実施状況（拠点別）	2
	2-1 法人本部	
	2-2 リハビリー・クリーナーズ	
	2-3 リハビリー・おおぞら	
	2-4 リハビリー・エイト	
	2-5 札幌ワークセンター	
	2-6 セルプさっぽろ	
	2-7 エルフィンホーム	
	2-8 陽だまり	
	2-9 ポプルス	
	経営健全化推進中期計画実績報告	15
3	理事会・評議員会審議内容等	27
4	職員研修等実施状況	30
5	行事・事業等実施状況	42
6	主な来所者（施設見学）の内訳	47
7	職場実習（受入れ）状況	51
8	施設設備整備実施報告	55
	8-1 実施状況総括表	
	8-2 事業所拠点別実施状況	
9	組織図	59
10	利用者等状況報告	60
	10-1 利用者・従業員数	

1. 事業実施概要

近年の障がい福祉制度等の動向は、障害者総合支援法・障害者虐待防止法・障害者差別解消法などの法整備が進み、着実に福祉が前進してきた。

さらに、社会福祉法人制度の見直し議論は、平成26年度において「社会保障審議会福祉部会報告書～社会福祉法人制度改革について～」として2月12日に取りまとめられ、「社会福祉法等の一部を改正する法律案」が4月3日に国会に提出された。法律案の主な内容としては、「経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革を進めるとともに、介護人材の確保を推進するための措置、社会福祉施設職員等退職手当共済制度の見直しの措置を講ずる。」というものであり、改正法の施行は平成29年4月1日（一部平成28年4月1日）が予定されており、北海道リハビリテーションにおいても、法人内の諸規定の改正整備を進めるとともに、必要となる予算の編成など今後の重要な課題となった。

平成26年度の北海道リハビリテーションの事業としては、福祉事業において利用者増・利用率向上に向けた様々な取り組みや、加算を伴うきめ細やかな福祉サービスの拡充を行ったことにより、見込み以上に利用が進み、結果として昨年に比べ利用登録人員が53名増加し、全体的に利用率も10%向上するなどにより障害福祉サービス等事業収益は、798,907千円で、前年比111.7%、金額にして83,375千円の増収となるなど順調に推移し福祉事業活動の増減差額においては94,480千円で年度を終了することができた。

一方、就労支援事業活動では、消費税増税や円安による諸物価の値上がり等による消費の低迷が影響し、就労支援事業収益は2,256,558千円で前年比97.3% 63,351千円の減となり、様々な支出削減の努力も及ばず、就労支援事業活動の増減差額においては10,082千円となった。結果的に就労と福祉を含む法人全体として事業活動計算書において、経常増減差額79,129千円を計上し、前年比で64,667千円の増収となり、当期活動増減差額では80,796千円となった。また資金収支計算書では、新会計基準に基づき、従来は流動資産に計上していた短期保有有価証券を固定資産に276,125千円を移動した影響で、当期末支払資金残高が410,286千円となった。

このように法人全体の収益力は、回復傾向にあるものの利用者工賃の向上に直結する就労支援事業については、更なる経営努力が必要と考えている。

平成26年度における主な事業実施状況については、次のとおりである。

【上半期の主な実施状況】

新社会福祉法人会計基準への移行と安定した会計業務体制の整備	2頁1.
障害者権利条約批准に伴う権利擁護・虐待防止に係る就業規則の改正	2頁1.
クリーナース新作業棟の老朽改築に係る実施設計と適正な改築計画の立案	2頁1.、4頁1.
関係機関等との連携強化と様々な取組による施設利用者支援の充実	5頁1.、7頁1.、10頁1.、12頁1.、14頁1.
ホームクリーニング外注化に伴う作業工程・人員体制の見直し（クリーナース）	4頁1.
栄養ケアマネジメントの導入、夜間支援体制強化による支援向上（エイト）	7頁1.（イ）
新たな施設外就労先の確保による支援向上（ワークセンター）	11頁2.
施設外就労による安定的な工賃収入の確保（セルフさっぽろ）	12頁2.
ケアホームとグループホームの一元化に伴う適正な運営（エルフィン）	13頁1.

【下半期の主な実施状況】

福祉サービス第三者評価の受審に向けた自己評価の実施	2頁2.
送迎サービス付きの軽作業事業の立ち上げ（クリーナース）	4頁1.
新たなグループホームの増設準備（エルフィンホーム）	13頁1.
特定相談支援事業所「ポプルス」の開設	14頁1.

2. 事業実施状況（拠点別）

2-1 法人本部

1. 法人運営

新社会福祉法人会計基準の移行に伴う適正な会計処理に向け、関係機関からの情報収集や運用面における各事業所(施設)への情報提供とアドバイス等を適切に行うとともに、問題点の洗い出しと修正を行い、適正な決算に努めた。

新会計基準に連動した給与ソフトについては、一部手作業によるデータ移行や操作方法の相違などにより、時間を要し難航したが、適正な処理・円滑な運用に努めた。

リハビリ・クリーナース新作業棟の老朽改築に向け、健全な資金計画を立案するため、国庫補助協議書を提出するとともに、福祉医療機構の借りに係る調査・相談・協議を進めてきたが、平成27年度での国庫補助が不採択となった。

障害者の権利に関する条約の批准に伴い、虐待防止等に関する職員の意識の一層の向上を図るため、各就業規則に利用者の権利擁護や虐待防止に関する条項を追加し、全職員に周知徹底を図った。

給与規程の一部見直しと人事考課に基づく能力を重視した昇給を可能にする仕組みの検討・協議を行い、基本となる仕組みの構築を行った。また、中期的な事業展開や人員配置等を考慮した人件費のシミュレーションを行い導入に向けた検討を行った。

利用者と地域住民とのふれあいの場とした第41回ボランティア・カーニバルを開催した。＜開催日：平成26年8月31日(日)、来場者他：約1000人＞

施設設備整備の実施や業務委託契約の締結などを適切かつ健全に行い、建物・設備類の保全と安全確保に努めた。

従業員の資質向上と人材育成のため、平成26年度事業計画に基づき、6月に新任職員研修、11月に中堅職員研修を実施した。

2. 施設運営・福祉事業（共通）

障害者総合支援法施行後3年を目途に見直しされる就労支援や支給決定のあり方等について、社会就労センター協議会（セルフ協）等を通じ情報収集等に努めた。また、サービス管理責任者連絡会議において、点検及び検討を行い、適正な運営と福祉サービスの提供に努めた。

地域福祉関係機関及び地域との情報交換やネットワークづくりを図るため、障がい者自立支援協議会や西の里たすけあい会議、北広島市就労情報交換会等に参画した。

広報誌「Welfare」を5月・8月・10月・1月の年4回発行し、関係施設や実施機関等に対し、各施設の運営方針や実施事業等の広報・PRに努めた。

福祉サービス第三者評価の受審に向けて、全事業所において自己評価を行った。

近隣地域及びJR新さっぽろ駅への定時送迎の他、利用者ニーズに対応したドアtoドア送迎を各施設において実施し、送迎サービスの充実に努めた。

サービス管理責任者連絡会議を毎月1回開催し、個別支援計画の策定や援助技術等の向上に努めた。また、福祉制度に係る情報の共有や各施設間の連携及び協力を図り、利用者支援の充実と質の向上に努めた。

個別支援会議を毎月1回開催し、各施設における利用者の自立に向けた支援の具体的な成功事例や困難事例等の報告検討や協議を実施し、職員の資質向上及び人材育成を図るとともに、専門性を活かした質の高い福祉サービスの提供に努めた。

苦情や困難事例など利用者支援に関する相談指導体制を体系的に整理し、各種会議を通じて全職員に周知徹底を図った。

苦情相談委員会議を隔月1回開催し、利用者及び家族等からの要望や苦情の申し出に対し、利用者の意向や立場、障がい特性等に配慮した迅速・適切な対応に努め、苦情相談委員からの意見・助言等を踏まえて支援の改善や向上を図った。

受理件数 1件

処理状況 リハビリー・エイトにおいて、「インターンシップの大学生と一緒に写真を撮ろうとした際に、利用者A氏が割り込んできたのは、職員と一緒にいるよう促したからではないのか。職員は、自分がA氏を嫌がっているのを知っていて、わざと入るように焚き付けたと思っている。」また、「職員の自分に対する態度が気になる。他の利用者には優しく見えるが、自分には厳しいことを言うと感じている。自治会活動や日常生活などで色々と助けてくれているのはわかっているが、納得できない部分がある。」等の苦情の申し出があった。苦情申出者及び当該職員と面談を行い事実確認の結果、苦情申出者に思い違いがあったことがわかり納得した。また、当該職員は、苦情申出者が他の利用者との支援対応の比較で不満を抱いているとは認識していなかったことから、苦情申出者に対し、不快な思いや誤解を与え、支援上の配慮が十分でなかったことを謝罪するとともに、個々の障がい特性などについては、これまで以上に十分配慮し丁寧な説明に努めていくことを伝え、理解を得て解決した。

施設内感染対策委員会などを通じ、感染症の流行状況の把握や予防対策情報の共有、疑いがある罹患者への適切な対応等を行うなど施設内の感染防止に努めた。しかし、全国的なインフルエンザの流行に伴い、法人内で20名ほど罹患したが、通所停止や居室隔離等の感染拡大予防対策を実施したため、大きなトラブルには至らなかった。

給食サービスについて、生活支援員、栄養士、給食委託業者間の連携強化と情報の共有を実施し、障がい特性や疾病状況等に配慮した給食提供と栄養管理に努めた。また、利用者の希望や嗜好等に配慮し、週1回のセレクト食・月1回の行事食・その他季節献立等を提供し、バラエティーに富み、食の楽しみを感じることのできる給食提供に努めた。

火災発生及び大規模地震を想定した消火・避難訓練、シェイクアウト訓練を実施し、防災意識の高揚、非常時の連携協力体制の強化に努めた。

<防災訓練実施状況>

6月19日	ワーク	8月22日	エイト	9月5日	エルフィン
9月11日	セルブ	9月12日	やまはな		
10月15日	<u>クリーナース、おおぞら、エルフィン、エイト(法人本部)、ワーク</u>				
11月10日	<u>陽だまり</u>	11月17日	<u>エイト</u>	11月20日	<u>陽だまり</u>
12月3日	<u>エルフィン</u>	3月6日	<u>セルブ</u>	3月16日	<u>やまはな</u>
3月18日	<u>クリーナース、おおぞら、地域福祉推進室</u>				

2-2 リハビリ・クリーナーズ

1. 施設運営・福祉事業

軽作業事業開始に伴い、「おおぞら」からの軽作業利用希望者の受入体制構築や「エイト」との共同受注に関する打合せ、地域の団体・関係機関・企業等との情報交換・相互見学を行った。

福祉サービス、障がい者の虐待防止に関する勉強会を定期的に開催した。現場の支援員の意見等を吸い上げる対話型の勉強会を行い、実態に即した利用者支援に努めた。

毎月の個別支援計画作成会議を月1回から2回に増やし、支援体制の強化に努めた。

ホームクリーニングの外注化に伴い作業場の人員体制のスリム化を図るとともに、新作業棟の老朽改築に伴う現ホテルリネン作業棟の取り扱いを明確に区分し、利用者ニーズや障がい特性に応じた人員配置計画を検討した。また、利用者の高齢化による障がいの重度化にあわせた配置転換の検討を進めた。

ホームクリーニングの外注化に伴い、利用者の作業を見直し、工賃を算出する際の作業項目や難易度表、作業考課表を一新した。また、フルタイム作業や自力通所困難者に対応するため、施設近郊に限定したドアtoドア送迎サービス付の軽作業事業を新たに10月より実施し、利用者3名の増に繋がった。作業は時間的に制約のないタオルたたみや作業場で使用しているハンガー清掃を基本としている。

新作業棟の老朽改築に向け、社会福祉施設整備費の国庫補助申請に必要な設計・積算等を含めた適正な改築計画を立案するため、基本設計を業務委託により実施した。また、適正な実施設計及び施工・工事監理を行う設計会社を選定するため、仕様書の作成・公告等の手続きを経て一般競争入札を執行した。

新作業棟はホテルリネン、第三工場は大口産業と外交員に特化した体制とし、大型機械設備(連続洗濯機・乾燥機・ロール機)の配置や入荷から出荷までの作業員の動線、事業収支を踏まえた省エネ、高効率・高生産化への実現等に向けた検討・計画に努めた。

クリーニング経営検討委員会にて、廃タイヤボイラーを前提としたクリーニング熱源の転換について調査・検討を行った結果、現段階では財務状況や安全性・安定性等からみて、現有水管ボイラーを引き続き数年使用し、燃費が良く専門技術者の配置の必要ない小型貫流ボイラーを順次導入することで効率化と省人化を図りながら引き続き廃タイヤボイラーの調査・検討を進めることとした。

2. 就労支援事業

主要部門の実績報告(クリーニング事業部)

(ア) ホームクリーニング

ホームクリーニングの平成26年度実績は、取次店のみ前年対比として31,360,532円の減、前年比77%と大きく下回った。原因は、消費税率増税による市場の冷え込み、取次店入居店舗自体の集客力の低下などが大きな要因である。その他、上半期の半額セール中止及び主要品目の7%値上げを実施したことにより顧客の近隣他店への流出などが考えられる。このことからクリーニング外注先の協力を得て、再度、ワイシャツ減額セールやドライ品半額セールを実施した他、他品目のセールなどを適時実施し、顧客確保と売上アップを図った。

(イ) 産業クリーニング

病院産業は、前年対比 11,002,688 円の減、前年比 87.9%と下回った。原因は、一部取引中止による減や大手取引先病院の術衣が産業クリーニングから白衣リースへ移行されたことが大きな要因である。また、主要 4 病院が消費税増税等により経費削減に伴う減額や関係団体の契約解除を行い、大幅な減収となったことから、各病院への営業強化を図り、リース等への変更も含めた提案に努めた。

ホテル産業は、前年対比 18,384,565 円の増、前年対比 123.9%と、3 件の下洗い新規受託できたことにより増収となった。下洗いは、資材購入の必要がなく売上げを伸ばす可能性があり、リネン資材高騰打開策となることから、同業他社との連携を含め、新規獲得に努めた。

(ウ) ホテルリネン

ホテルリネンは、前年対比 12,897,086 円の減であり、前年比 94.1%と下回った。要因は、取引ホテルの一部改装に伴う 3 ヶ月間の客室の受け入れ止め、国内旅行者の減少や消費税増税による市場の冷え込みである。一部ホテルのリネン値上も行ったが、前半の落ち込みは予想以上で取引ホテル全体が前年実績に届かない状況であったが、後半には円安を背景に外国人観光客の増加により業績は好転している。また、ホテルとのリネンサプライ契約による売上は、前年に届かなかったものの、他社のホテルリネン品の受託契約による下洗いを獲得したことにより、ホテル産業としての取扱量が増加し、クリーナーズのホテルリネン作業場は、適度な生産量を確保することができた。

機械設備等のメンテナンス実施体制構築と作業環境整備に向け、部門職員ごとに指導し責任の所在を明確した。

日常作業中の事故防止を全体朝礼等で喚起するとともに、機械設備ごとの注意点を部門別従業員へ指導、利用者への見守り強化を図った。

新規に導入した高生産・省エネ機器の能力向上と作業工程の見直しを行うなどした結果、時間外作業の短縮と蒸気等使用量の削減に繋がった。

消費電力を抑えるため、デマンド管理システム「電気の見える化」を導入し、各職場単位での時間別電力量の把握と対策が可能となり、職員の経費削減意識の向上に繋がった。また、新作業棟の老朽改築に合わせ、省エネ設備の導入を検討した。

2-3 リハビリー・おおぞら

1. 施設運営・福祉事業

利用者数名の退所や施設替えがあったが、ハローワークや相談支援事業所との連携強化により、前年度末に比べ、就労継続支援 A 型 10 名を含め 16 名増の 98 名となった。また、その他 8 名の受入れが決定し、利用契約に向けた準備を進めた。

利用者の増加を見据えた見学者、実習者の円滑な受入れ体制を確立した。

質の高い福祉サービス提供を行うため、引き続き毎朝職制及び看護師とのミーティングを継続実施するとともに、毎週個別支援計画策定会議を実施し、支援対策強化に努めた。

福祉関係の専門的技術の習得と個別支援計画策定技術の向上を目的とし、北海道社会福祉協議会等が主催する外部研修へ積極的に参加するとともに、毎月テーマを決めて福祉事業職員を対象とした内部研修を実施した。また、定期的に虐待防止に関する内部研修も実施した。

次世代を担う若手職員と専門的技術や技能・福祉関連の資格取得を柱とする人材の育成に努め、衛生管理者資格取得に向けた講習等に10名参加させた。

2. 就労支援事業

実績及び状況報告（クリーニング事業部）

(ア) 病院寝具

寝具の売上げは、前年対比5,742,138円の減、前年比97.4%と下回った。原因は、3件の契約終了と既存の病院での人手不足等による稼働制限であり、値上の交渉、新規の獲得や安価な製品の提案を検討した。また、老健施設に移行するなど一部病院寝具が施設寝具に変更している病院があり、一部増益となったが、病院や老健施設の閉鎖による解約が売上げに影響し、新規獲得の売上げが、全体売上を大きく押し上げる状況には至らなかった。

(イ) ダイアパー・セットリネン

近年、病院等では、セットリネンとダイアパーを合わせて導入するケースが増えてきており、当法人が行うセットリネンとの相違もあることから、専門会社とのタイアップも含め、取引先病院等と当生産工場双方にメリットのある提案営業に努めた。また、セットリネンは、病院へのアメニティリースレンタル会社2件から受託したが、新規取引開始初年度であり不透明な部分もあるため、作業状況や集配状況等を勘察した営業展開を行った。病院クリーニング等については、病院職員や入院患者の費用負担から、消費税増税による品物の減少も考えられるため、状況を注視して売上高の維持に努めた。

(ウ) 白衣リース

白衣リースは、再契約時の値上げや高利益商品を提案した結果、前年対比13,527,176円の増、前年比107.7%と上回った。白衣等は、流行デザイン等の提案力も重要であるため、仕入先との協力連携を図るとともに、値上げを含めた提案も行いながら契約更新に繋がった。

(エ) 商品販売

新規取引に繋がる入札等に参加するなどして、売上増を図ったが、紙オムツなどの商品販売及びカーテンリースについても減収となっており、オムツは病院が直接メーカー取引を行うなど減となった。カーテンリースは新規購入が少なく、病院や施設での経費節約商品の一つとなっていることが考えられる。

作業の効率化を図り、おおぞら新作業棟の一斉休日を毎月2回実施し、燃料消費量の削減を図った。

得意先在庫の確認及び購入リネン品の一部見直しを実施し、支出削減と適正在庫管理に努めた。

専門的技術や技能向上を目的に衛生管理者及びクリーニング師資格取得に向けた外部研修へ参加させた。

2-4 リハビリ・エイト

1. 施設運営・福祉事業

日々の定期的な連絡会議やカンファレンスなどにおいて、各利用者の障がい特性の理解や心身等の状況に応じた支援方法についての学習・研修を行い、多様化する利用者ニーズに対応するための生活支援・職業指導等の援助技術の向上に努めた。

内部研修や会議等を定期的開催し、外部研修への積極的な参加と事業所内の研修・勉強会等を通じて職員の資質の向上を図った。また、習得した知識・技術・情報の職場へのフィードバックにより、研修効果の向上と共通認識の確保に努めた。

個々の障がい特性等に配慮した個別支援の一層の充実が求められていることから、外部研修への参加や内部研修の実施、OJTや日常のカンファレンス、会議等を通じ、障がい特性の理解や心身の状態等に応じた支援方法を学習するなど、職員の資質とスキルの向上に努めた。

多様化する利用者ニーズや障がい特性等に応じた利用形態・作業形態に柔軟に対応し、利用促進に努めた。

特別支援学校への訪問や体験利用実習、施設見学等を積極的に受け入れ、実習12件、施設見学20件を行い、新規利用者を10名受け入れた。

利用者の意向や障がい特性・心身状態・疾病等に配慮した個別支援を継続して実践した他、栄養ケアマネジメントの導入、夜間支援体制の強化、入浴・排せつ・身体介助等の個別対応の強化、日中活動における創作的活動プログラム等の拡充等に重点的に取り組み、利用者支援の充実に努めた。

通所送迎サービスについて、近隣地域及び新札幌への定時送迎を継続実施した他、生活介護事業等の一部利用者について、自宅までの個別送迎を試行的に開始した。

施設入所支援において、夜間支援職員の配置を段階的に2名体制に移行し、宿直夜警職員との連携や夜間及び休日のオンコール緊急対応を図った。

施設入所支援事業・生活介護事業

(ア) 障がいの重度化・加齢・疾病等により、身体機能・認知力・ADL等の低下が見られる利用者が増えていることから、個別支援の量的・質的両面の充実と生活の質の向上に資するため、()夜間支援体制を1名から2名体制へ段階的に移行、()栄養ケアマネジメントの導入による健康管理・生活習慣病等の改善に向けた支援、()ドアtoドアの個別送迎支援を試行的に開始、()その他、身体介助・見守り支援、機能回復訓練サポート、生活相談・面談、通院支援等に重点的に取り組んだ。平均障害支援区分は、前年度の3.3から3.7へ上昇した。

(イ) 栄養ケアマネジメントを4月より導入し、持病・疾病や日々の身体状況・食事摂取状況、BMI数値による栄養過多・過少等の利用者個人の状況把握と情報共有を図るとともに、生活支援員・看護師・栄養士との協働により、日常生活への助言、通院支援、カロリー・塩分制限、嚥下機能低下者へのとろみ剤使用等を行い、利用者の生活の質の向上を図り健康・栄養管理に努めた。(施設入所支援事業)

(ウ) 日中活動における創作的活動等の拡充については、生活支援補助員を2名配置するとともに、個々のニーズに合わせたプログラム・レクリエーション等(習字・貼り絵・工作・花壇作り・買物レク・周辺散策・体操など)を実施し、創作意欲の向上、残存能力の維持向上及び情緒の安定に努めた。

就労継続支援B型事業・就労移行支援事業

- (ア) 多様化する利用者ニーズや障がい特性等に応じた作業訓練（作業種・作業環境・作業時間等）を提供するとともに、精神的・情緒的安定と作業への継続参加に繋げることを目的とした面談等を適時実施し、個別支援の充実に努めた。
- (イ) 関係職員による全体カンファレンスや利用者支援連絡会議等を実施し、日常的に利用者の健康及び精神状態や作業状況等を把握・共有し、利用者の状態変化等に考慮した生活支援・就労支援に努めた。
- (ウ) 一般就労希望者へのアセスメントや面接訓練、職場実習、求職登録、企業見学等を適時行うとともに、利用者の意向や家族との定期的な連絡及び相談を通じて、一般就労に対する理解や意欲の向上に努めた。また、以前に一般就労した方への職場訪問や相談支援等の定着支援も継続的に実施するとともに、1名が採用内定を受けたことから、4月からの勤務に向けた準備支援を進めた。（就労移行支援事業）
- (エ) 石狩圏域の障がい者雇用支援ネットワーク協議会や北広島市就労支援情報交換会等に参画し、近隣地域の情報収集や支援課題の検討等を行い、他施設等との協力連携体制の構築及び支援向上を図った。（就労移行支援事業）

2. 就労支援事業

就労支援事業活動においては、近年の事業状況、印刷市場の動向、福祉事業を取り巻く制度や環境、利用者の障がい特性の多様化等を踏まえて、印刷事業の必要な合理化・見直しと営業活動の強化・効率化を図りながら収益改善を図るとともに、近年の障がい特性・利用者ニーズの多様化に対応した福祉的就労の充実と作業領域の拡大に努めた。

一方で、印刷市場の縮小化や商業印刷等をはじめとする紙媒体需要が低下していることから、補正予算後の第3四半期当初から受注が伸びず、2月・3月で年間での減収分の補填を余儀なくされた。

印刷事業の売上高は、年度末において統一地方選挙による特需があったことから予算比100.7%と計画額を確保し、就労支援事業活動増減差額は、予算比+12,550千円・197.6%となり、2期連続の黒字を計上した。

生産部門における収益確保に向けた取り組み

- (ア) 月次・年次単位における繁閑を緩和し、納期集中による生産ラインへ過負荷と生産コスト増を低減するために、受注アプローチにおいて可能な限り納期コントロールを行うとともに、入稿前段階から生産工程を設計し、プリプレス・ポストプレス両部門が共有して工程の把握・管理を行い、生産能力の有効活用と生産リードタイムの短縮に努めた。また、組織的な労働時間管理を合わせて行い、総体的な超過勤務の削減に努めた。（超過勤務：プリプレス部門 前年対比で 1,174 時間・22%の減、ポストプレス部門 前年対比で 2,759 時間・58%の減）
- (イ) ペーパー版を使用したマスター印刷を休止し、軽オフ印刷物件をオンデマンド印刷へ移行集約して生産効率の向上を図った。一方でデジタルプレス機の稼働率が当初見込みを超える前年比で約2.5倍となったことから、顧客ニーズ、設備稼働状況、生産能力、製造コスト等を勘案して、オンデマンド印刷とオフセット印刷の生産調整を図っている。また、近年の需要減により稼働率・収益率が低下していた老朽設備の複写物・カーボン印刷を4月に停止して外注化を図り、生産効率の向上と生産コストの低減を図った。

- (ウ) 調達資材については、適時見積を徴取し、価格・品質・調達の利便性等を十分考慮して購入するとともに、損紙等の設定比率を抑え、予備資材を内校や色校出力に流用するなど、総合的な発注資材経費の削減に努めた。また、昨年度に導入した電力デマンド監視システムを活用し、最大需要時の電力使用を生産部門全体で制御して契約電力のデマント値超過を防ぎ、生産量を低下させずに電力負荷を軽減するよう努めるとともに、省エネ・コスト削減に対する意識の向上を図った。
- (I) 組版・集版部門においてデータ変換システムを導入し、DTP(編集・デザイン・レイアウト)作業の効率化を図った。多種多様化する入稿データの印刷用データへの変換処理が容易になり、処理時間短縮・変換ミス等によるロスの低減が得られたとともに、これまで特定のオペレーターのみで行っていた作業の分散化が可能となり、部門全体でのオペレーションによる作業効率の向上と個々のスキルアップを図った。
- (オ) 組版ソフトのOSを統一して、DTPのオペレーションを一元化する検討を進めているが、技術員の人材補強等が計画通りに進まなかったことから、平成27年度においてオペレーターの確保や設備変更を含めた検討を継続することとした。
- (カ) 部門内の業務管理システムの調査と改修については、専属の人員を充てることのできない中で部分的な移行に留まった。今後も、セキュリティ問題を最優先にOS移行を進めるとともに、印刷事業の方向性を見据えて、平成27年度以降の業務管理システムの運用方法や改修・新システム導入についての検討を継続して行うこととした。
- 営業部門における受注及び収益の確保に向けた取り組み
- (ア) 低収益物件・不採算物件の精査と積算提示の見直しを行うとともに、受注額・収益率・潜在シェア等を基礎とした顧客の分析・ランク付けを行い、シェア拡大と収益が望める得意先への深耕活動を進めた。既存取引顧客でのシェア深耕・拡大実績は受注件数1,113件・受注額100,652千円で前年金額比105.2%と一定の成果を得た。また、受注総件数は9,722件で前年対比95.6%、1物件当たりの平均受注単価は63,370円で前年対比468円と微増した。
- (イ) 月次・年次単位における納期の平準化を図り、極端な生産集中による生産ラインへ過負荷と生産コスト増を低減するために、受注アプローチにおいて可能な限り納期コントロールに努めた。しかし、リピート物件・定期物件への早期アプローチによる再受注の確保と生産計画の早期作成による生産性の効率化については、顧客ニーズの多様化や受注物件の複雑化等により営業部門における受注効率が期待通りに向上せず、課題を残す結果となった。
- (ウ) 顧客の囲い込みを図るために、紙媒体に限定しない印刷周辺ニーズを取り込むとともに、関連業務を含むワンストップサービスを提供している。
- (I) 新規顧客開拓推進者を定めて新たな得意先の獲得に努めたが、営業員の退職等により既存顧客対応に時間を要し、十分な営業活動ができなかったことから、体制補強を含めて平成27年度の継続課題とする。新規取引顧客数は183件・受注額17,499千円にとどまった。
- (オ) 営業職員の担当エリア・担当顧客については、クライアントとの信頼関係維持と顧客満足を第一に考慮しながらも、営業活動の効率化を図るために必要な再編を行うとともに、営業業務との連携・バックアップにより、営業員が渉外活動に専念できる体制づくりに努めた。

- (カ) 障害者優先調達推進法(1)の活用について、前年度に引き続き、北広島市をはじめ近隣市町村への訪問PR活動を行った。一部の自治体の機関から新規受注を得たが、官公需全体を押し上げるに至っていないため、自治体の動向に注視して積極的な受注活動を継続した。
- (キ) 支援課と協働して近隣の高等支援学校・高等養護学校への訪問を行い、利用者の確保と印刷受注を兼ねた営業活動に努めた。
多様化する利用者ニーズや障がい特性等に応じた作業訓練の提供と職業指導の充実
- (ア) 障がいの重度化や加齢による作業能力の変化や知的障がい・発達障がい等の利用者ニーズの増加等にもともなう作業訓練・生産活動のモチ方が変化している一方で、近年の印刷事業においては、高い技術力や専門性、高精度・高品質・短納期等を求められており、福祉的就労を含めた利用者ニーズや障がい特性等にマッチした作業が見い出せないケースもあることから、作業領域の拡充や就労支援体制の充実が求められている。このため、印刷事業に限定しない生産活動に取り組み、個々の障がい特性等を勘案し、作業スケジュールの理解、作業のルーティン化、課題の個別化などを行うとともに、感覚・知覚過敏や認知状況に配慮して少人数・個別作業の場やクールダウン環境等を提供し、作業意欲の向上や積極性・職業意識等の醸成、適性や能力の更なる引き出し、精神的安定、作業参加率の向上を図った。
- (イ) 軽作業部門を主体とした受託軽作業については、ゼリー食品の検品・菓子箱等の組立などの作業に加えて、今年度から乳製品パッケージのラベル貼りや製本部門と連携した封入・パッケージ作業等を行い、利用者の障がい特性や心身の状況、作業能力等への配慮を第一とした就労支援に努めた。なお、平成23年度から受託を開始した環境PR用リサイクル脱臭剤の製造作業(年間受託料・約1,500千円(印刷含む))は、先方の事情により本年度は生産休止となった。

1 障害者優先調達推進法

平成25年4月1日より国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関し、障害者就労施設等の受注の機会を確保するために必要な事項等を定め、障害者就労施設等が供給する物品等に対する需要の増進を図る法律。

2-5 札幌ワークセンター

1. 施設運営・福祉事業

地域の相談支援事業所との協働強化等により、新規利用者17名を受け入れるとともに、希望・意向等を十分に考慮して施設入所利用者1名が地域へ移行した。また、利用者家族に対し、安心した生活を提供するため、ケアマネジメント支援に努めた。

利用者の障がいの重度化・高齢化等により、身体的・精神的機能の低下が見られることから、各利用者に応じた介護技術・方法等での支援に努めた。特に、摂食嚥下状態が悪い利用者に対しては、看護師と全職員がQOLに視点を置くとともに、看護師1名を採用して、看護師2名体制とし、医療的ケアに対応した支援体制の充実化を図った。

利用者ニーズに応えるため、就労継続支援B型事業であるパン製造の販路確保及び施設外就労先拡充に努めた。清掃部門においては、職業指導員1名を増員し支援の充実を図った。

利用者にとって身体的・精神的負担の少ない効率的な送迎ルートの設定や利用者ができる限り満足するレクリエーションプログラムを実施するなどサービス内容について日常点検等を行い、個別支援計画を中心としたサービス提供を実施した。

高齢に起因する疾病、生活習慣病等に罹患またはその可能性のある利用者に対し、看護師、管理栄養士、支援員が連携を強化し、食生活等の改善と助言、医療機関の受診など支援強化に努めた。

多様化する利用者の障害種別及び行動態様に対応するため、職員の資質向上が急務の課題であることから、支援員2名が精神保健福祉士と介護福祉士をそれぞれ取得した。

2. 就労支援事業

就労継続支援B型事業のパン製造を希望する者が多く、従たる事業所の立ち上げを検討し、不動産業者を介して店舗物件及び立地場所、開設費用等の調査を行った。しかし、利用者工賃等を見込んだ収益を得ることが困難であり、現時点での立ち上げは難しいが、拡充に向けて高齢者施設等への販路2ヶ所を確保した。

一般就労に向け、本人及び家族等の意向を尊重し、個別的作業指導により作業技術等の向上や就労移行支援に努め、就労継続B型利用者1名を就職に繋げるため、企業での職場実習を行い、採用に至った。

洗濯を中心とした作業を行うことができる特別養護老人ホームを、新たな施設外就労先として確保し、利用者4名、支援員1名を派遣し、就労支援に取り組んだ。

フェリスについては、近郊に民間のクリーニング店ができたことで収入減となり、また、接客等を行えることが難しい利用者が増えてきたことから9月30日を以って閉店するに至った。

2-6 セルプさっぽろ

1. 施設運営・福祉事業

個別支援計画策定会議の中で障害者総合支援法の変更点等の確認を行い、制度についての認識を高めた。また、全職員が支援計画やモニタリングの策定についての理解を深め、適切なケアマネジメントの実施に努めた。

ウェルプラザやまはなの今後の事業運営について、売上動向や収支状況、作業体制など想定される問題や課題について検討を重ねた結果、現在の建物では面積的にも法規制上も作業量増、利用者増への対応に限界があり、事業の発展性が低いこと、また単独要件を満たすためには人員配置が必要となるが、クリーニング事業の収益性の低下など、現状では単独化のメリットが見出せないことから、当分の間、従たる事業所として継続運用していくこととした。

豊平区の地域自立支援協議会の事務局として、地域フォーラム開催準備や各種研修会へ積極的に参加し、地域ネットワークの構築に努めた。

家族からの地域生活支援に関する問い合わせ等については、施設としての助言の他、地域の相談支援事業所を紹介するなどして対応した。

ハローワーク、障害者職業センター、就業・生活支援センター等の関係機関と連携し、一般就労に向けた取り組みを行った。その結果、1名がブランドショップ(バックヤード業務)、2名が食品工場(清掃業務)へ一般就労を決めた。また、就職した利用者への定着支援と定着後の継続支援を、関係機関とのチーム支援により行った。

就労支援プログラム(SST)を定期的実施し、就労に必要なスキルの習得と課題の整理に努めた。また、近隣大型スーパーの惣菜部門の実習に2名、近隣雑貨店の実習に2名が参加し一般就労に必要な知識を深めた。

特別支援学校の進路担当や相談支援事業所、ハローワークと連携を図り新規利用者の獲得に努めた。また、将来的な利用者確保のため、各種特別支援学校からの体験実習や見学の積極的な受け入れに努めた。

各種外部研修に積極的に参加し、専門的な援助技術・ケアマネジメント技術の向上に向けた取り組みを行った。

会議等を通じて職員全員がケアマネジメントの流れや必要性の再認識に努めた。また、アセスメントやモニタリングの中で利用者の要望を確認するとともに、個別支援計画に反映し、適切な支援に努めた。

父母の会の総会への参加や自治会主催の行事に家族を招き、積極的に意見交換を行った。また、毎月実施している土曜日開所では焼肉会や宿泊旅行をはじめ、施設や工場等を見学に行くことで、利用者職員との関係性の向上に努めた。

<自治会主催行事：焼肉会(7月)、宿泊旅行(9月)、クリスマス会(12月)>

<施設見学・屋外レク：4月・5月・6月・8月・10月>

<室内レク：11月・1月・2月・3月>

2.就労支援事業

ミーティング時に各部門の受注、納品状況、作業の進捗状況を報告し、全員での情報共有を図り、協力体制の強化、作業の効率化に努めた。

縫製部門では、長年継続受注していた商品の既製品への変更や、数量の減少等、年々受注額が下がってきているが、新規受注に積極的に取り組むことで新しい作業を増やし受注量の確保に努めた。また、軽作業ではナイスハートネット北海道の紹介により食品の箱詰・賞味期限の印字等の新規作業を受注した。

ウエスの原材料を確保するため、タオル業者との交渉により大量在庫となっていたタオルを格安で仕入れた。また、他取引業者からも新規に原材料を仕入れるとともに、在庫の少ない商品については、原材料の加工などによる代替加工品の販売促進に努めた。

ウェルプラザやまはな直営店舗について、新聞の折り込みチラシの内容やレイアウトの更新及び消費税増税に伴う価格改定により、売上増加や新規顧客の獲得に努めた。

4月から札幌ワークセンターの清掃業務、9月から特別養護老人ホームの洗濯業務、11月から同施設の清掃業務を受託し、施設外就労を行っている。就職訓練場所の提供や安定的な工賃収入の確保に伴い、利用者の工賃向上、精勤手当の算定額の増を図った。

利用者個々の技術向上のため、縫製部門ではミシン、アイロン、製品のたたみや袋詰めなど段階的な支援に努めた。また、軽作業部門では多種ある作業に対応できるよう、ミシンを利用した加工作業を増やす等、作業領域を広げる支援に努めた。

職員の技術レベル向上のため、しみ抜き等の内部勉強会や外部研修会への積極的な参加に努め、専門技術の向上を図った。

2-7 エルフィンホーム

1. 施設運営・福祉事業

4月以降、入居者へケアホームとグループホームの一元化について説明し、利用者の同意を得たうえで再契約や各種届出を行い、円滑な移行に努めた。

利用者個々の意向を元にした個別支援計画を作成し、個々の心身状況、障がい程度に合致したサービスの提供に努めた。

施設内世話人研修会（知的障がい者の老齢期の課題、熱中症について、虐待防止、発達障害の特性理解について、インフルエンザについて）を開催し、支援員及び世話人の資質向上に努めた。

災害時非常備蓄品や災害用備品を設置し、非常災害時における災害対策を行った。

毎月開催する自治会懇談会に支援員が参加及び助言し、ボランティアカーニバルへの自治会出店、研修旅行等、利用者主体行事への協力や自治会活動への支援に努めた。

地域会議や町内会行事（清掃・親睦会・会議・夏祭り・体験学習）に積極的に参加し、地域貢献及び地域住民との交流、開かれた事業運営に努めた。

5月18日・10月12日 町内清掃

6月29日 町内会親睦会

8月6日・7日 西の里地区夏祭り（さくら公園）

8月5日・8日 西の里地区夏祭り会場設営、後片付け

9月24日 西の里小学校車椅子体験学習

4月23日・5月21日・7月16日・10月22日・11月19日・2月21日・3月19日 西の里地域たすけあい会
北広島市西の里東地区にグループホーム（1ユニット8名）の増設を決定した。

2-8 陽だまり

1. 施設運営・福祉事業

本年度は3名でスタートしたが、2名の退所と4名の入所があり3月6日に定員5名が充足された。

入居者のうち2名は、法人内事業所を活用しており、3名は近隣スーパー等でパート職員として就労している。本人の意向や体力等を考慮しながら、退居後の自立生活を目標とし、就業時間の延長や一般就労等も視野に入れ対応に努めた。また、一般就労を目指している入居者は、5月から就労支援機関等との活用・連携を図るなどして就労促進に努めた。

陽だまりの安定的運営を図るため、全道児童相談所長協議会（7月16日）において、陽だまりの現況報告と定員充足に向けた要請を行った。また、北海道保健福祉部に措置費に係る暫定定員の見直し協議を行い、1月から1名増の4名で認められた。

入居児童個々の意向を尊重し、自立に向けた目標設定に配慮した自立生活援助計画の策定に努めるとともに、自立促進の観点から児童相談所や関係機関との連携・協力を図り、支援に努めた。

関係機関の協力を得て、研修の受け入れや入居児童に関する定期的指導を実施するとともに、外部研修への参加と夜間支援員等への内部伝達研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

入居児童の心理的な安定を図るため、各関係機関を活用・連携し、月1回のカウンセリングの実施や就業支援実績の向上に努めた。

自立心の助長や社会参加への意欲向上、士気の高揚を目的とし、地域資源を活用したレクリエーション（エルフィンロードでの歩こう会、雪まつり）や社会見学等を実施した。

限られた期間内で社会的自立を目指す施設であることから、各関係施設との連携及び協力を図り、交流会や社会見学を通じモチベーションの向上を図った。

各関係機関や地域住民との連携・協力関係を深めるため、町内会へ引き続き特別会員として、継続加入を行うとともに、運営懇談会を開催し、運営状況等への理解に努めた。

退所後の円滑な生活の促進と定着、就労継続を図るため、必要なアフターケアの実施に努めた。

2-9 ポプルス(特定相談支援事業)

1. 施設運営・福祉事業

地域における障がい者の自立した生活を支え、障がい者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによるきめ細やかな支援を行うため、平成27年1月、札幌ワークセンター内に特定相談支援事業所「ポプルス」を開設した。

札幌市からの認可時期の遅延により地域への事前周知が遅れたが、居宅や日中活動場所等への訪問・相談を行い、本人の意思やニーズを把握し必要な情報等を提供し、7件のサービス等利用計画を作成した。

成年後見制度や障害者総合支援法の障害福祉サービス内容、市町村における日常生活自立支援事業などにフォーマル、インフォーマルに関わらずニーズに合わせた情報提供に努めた。

清田区主催の相談支援事業所連絡会に参加し、他相談支援事業所と情報・意見交換等を積極的に行い連携を図った。

経営健全化推進中期計画 実績報告(平成26年度)

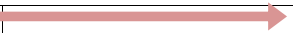

計 画 内 容	平成25年度実施報告	平成26年度実施報告	平成27年度
1.福祉サービスの充実と質の向上			
<p>利用者支援の充実</p> <p>様々なニーズに対応できる利用者支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情・相談援助の強化、高齢化・障がいの重度重複化への対応を強化する 自立支援課と各課との連携強化を図る 利用者虐待防止の取組みを継続して行う <p style="text-align: right;">【クリーナース】 【おおぞら】 【エルフィン】</p>	<p style="text-align: center;">作業訓練や生活支援に求められる多様化する利用者ニーズに対応できるよう、支援体制の構築とサービスの充実を図る</p> <p>●</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力的に衰えて来ている利用者には徐々に量的作業から質的作業へと転換を図った 長期休養していた利用者2名に対し作業ペースを確保し、ユニフォーム、タオル等のたたみ作業を軽作業的に行った 毎月の個別支援計画作成会議と平行して職員間連絡会議を開催し、利用者支援の強化を図った 利用者虐待防止について全職員対象に勉強会を実施した <p style="text-align: center;">【クリーナース・おおぞら・エルフィン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の障がいに合わせた相談支援の実施 特に細かな支援の必要な利用者については家族と連携して対応 強化中 <p style="text-align: center;">【おおぞら】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業所就労支援部門との連携強化(4月～) 利用者の要望に基づく共同生活ルール改善(8月) 世話人の勤務ユニット及び業務タイムスケジュール見直し(8月) 診療所や作業所と連携を図り、利用者の健康状態把握に努め、疾病予防や服薬管理・使用等のきめ細かな指導や病院の引率支援を行った <p style="text-align: center;">【エルフィン】</p>		
<p>支援体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様化するニーズに対応 - 日常生活支援、職業指導の充実/支援者のスキルアップ 重度化、高齢化、障害程度の変動等に対応した支援(施設入所・生活介護事業) <p style="text-align: right;">【エイト】</p>	<p>●</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月から専門職合同の日次カンファレンスを実施し、支援情報等の共有を図った 福祉事業職員に対する内部研修を月1回実施した 日常生活支援、入浴支援、通院支援等の質的・量的向上(入浴排せつ・衣類着脱等介助、夜間支援、清掃支援、金銭管理などに関する相談対応、指導助言等を強化) 栄養ケアマネジメント導入に向けた準備を行った 生活介護の日中プログラムの充実が継続課題 <p>●</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門性の習得、援助技術・資質の向上、支援情報等の共有を図るため、福祉事業職員研修・利用者支援連絡会議・日次カンファレンス・支援会議等を継続して実施した 生活支援補助員の配置等により、入浴・排せつ・身体介助、通院 支援等の個別対応を強化した 生活支援員・看護師・管理栄養士の共同による生活習慣病等の改善に向けた相談・支援を実施した 4月から栄養ケアマネジメントを導入するとともに、療養食の提供を開始した 夜間支援体制を1名から2名体制へ移行した 利用者ニーズに応じた創作的活動・レクリエーション等の内容を拡充した 施設入所支援(生活介護)利用者の平均障害支援区分は、年度当初の3.3から3.7へ上昇した <p style="text-align: center;">【エルフィン】</p>		

計 画 内 容	平成 2 5 年度実施報告	平成 2 6 年度実施報告	平成 2 7 年度
就労移行支援の取り組み強化 ・一般就労希望者への就労移行支援の促進 ・就労移行支援事業利用者向け S S T 等のプログラムを実施 ・年度において、2名の一般就労を目指す 【 エ イ ト 】	・石狩圏域障がい者雇用支援ネットワーク協議会への参画 ・就労支援員の就業支援基礎研修ほか各種研修会への参加 ・個別面談の実施、模擬面接訓練・企業職場実習・求人登録等の支援を実施 ・前年度の一般就労者に対する定着支援を継続実施 ・今年度の就労実績なし	・一般就労に向けた個別相談、面接訓練、職場実習、求職登録、企業見学等を継続して実施した ・一般就労した方への職場訪問や相談支援等の定着支援を継続して実施した ・石狩圏域障がい者雇用支援ネットワーク及び北広島市就労支援情報交換会等への参画による地域事業所間のネットワーク構築に努めた ・下期において利用者1名が採用内定を受けた(平成27年4月1日就労) ・今年度の就労実績はなし	
就労支援における作業領域の拡充/職業指導体制の充実 ・多様化するニーズへの対応と作業領域拡充のための軽作業等の進展と作業指導の充実 【 エ イ ト 】	・軽作業部門：新規作業の取り入れにより作業内容を拡充 ・職業指導員の担当再編による個別支援の実践 ・全部門職員による軽作業部門への巡回支援を実施 ・職業指導員への援助技術・支援方法等の個別指導を適時実施 ・製本部門において利用者作業スペースを拡張	・印刷事業に限定しない受託作業を取り入れ、軽作業部門における就労支援の拡充を図った(菓子箱等組立、ペットボトルラベル貼、ゼリー検品、食品パッケージラベル貼り等) ・障がい特性等に応じて作業手順の視覚化・作業のルーティン化・課題の個別化等の支援を実践した ・感覚・知覚過敏や認知状況等に配慮した少人数・個別作業、クールダウン環境等の提供に努めた ・全職業指導員による軽作業部門の巡回支援を継続して実施した	
就労移行支援事業の充実 ・利用者の希望等から、支援プログラムの構築を行い、就労移行支援事業利用者の支援の充実を図る 【 福祉企画室 】	・各施設就労移行支援事業において継続検討している	・各施設における支援プログラムに基づき、企業見学や実習先の拡大を図るなど、就労移行支援事業の充実・強化に努めた	
ヒアリングによる利用者の支援 ・日常の関わりとは別に時間を設けてこまめに利用者とのヒアリングを行い、心身の変化を察知しながら支援を行う 【 ワーク 】	・看護師と支援員が連携を図り、個別に利用者個別から聞き取りを行い、利用者の施設内での活動状況を観察しながら、利用者個々に合わせた支援に努めた	・利用者の心身状態に合わせ、看護師と支援員が連携し、利用者個別に面談を行い、その状況に合わせた支援に努めた	→
クリーナース事業部の支援体制整備 ・リハビリー・クリーナース、リハビリー・おおぞら、エルフィンホームの事業所体制の再編成 【 法人本部 】	・リハビリー・クリーナース、リハビリー・おおぞら、エルフィンホームとクリーニング事業部の事業体制の再編成を実施(4月)		
給食サービス業務の見直し ・給食サービス業務の見直しを行い、新給食サービス業務を実施 【 総務課 】	・より良い給食サービスの提供に向けてセレクト食やイベント食等を取り入れた、新たな給食サービス業務を実施(4月～)		
事業体系の見直し及び新事業の開始等	既存事業所の安定した事業運営のために、事業見直しの検討と新事業の開始に向けた計画的な準備を進めるとともに、利用者の意向等を踏まえた、住まいの場の新たな設置についての検討も行う		
「ウェルブラザやまはな」単独化に向けた検討 ・準備期間(平成25～26年)において収益構造を構築 【 セルプ 】	・「ウェルブラザやまはな」単独化は、職員の内部研修の継続、収益状況の確認をするともに、単独化した際のシミュレーションを行い、メリット・デメリット等を洗い出し検討を進めている。また、クリーナースおよびクリーニング事業部の今後の動向に合わせ、連携・対応等の調整を行いながら収益性の検討についても進める ・住まいの場について、将来的にGH利用を検討されている方に、市内のGHと連携して見学や体験利用を進めた	・「ウェルブラザやまはな」単独化について、売上動向や収支状況、作業体制など想定される問題や課題について検討を重ねた結果、現在の建物では面積的にも法規制上も作業量増、利用者増への対応に限界があり、事業の発展性が低いこと、また単独要件を満たすためには人員配置が必要となるが、クリーニング事業の収益性の低下など、現状では単独化のメリットが見出せないことから、当分の間、従たる事業所として継続運用していくこととした	

計 画 内 容	平成 2 5 年度実施報告	平成 2 6 年度実施報告	平成 2 7 年度
住まいの場の設置についての検討 ・平成27年度に向けて「住まいの場」について引き続き検討を重ねていく ・GH検討会(ワークセンターと共同)にて検討 少数のGH等の希望があった際には市内の施設と連携を図り対応する【セルブ】	・住まいの場について、将来的にGH利用を検討されている方に、市内のGHと連携して見学や体験利用を進めている	・住まいの場について、将来的にGH利用を検討されている方に対して、法人内外のGHと連携して見学や体験利用などを勧めた	・平成28年度以降「住まいの場」の開設希望について再度調査するとともに、次年度以降も検討を進める
グループホーム等の増設 ・グループホーム・ケアホーム等の増設に向けた検討【福祉企画室】	・グループホーム・ケアホーム等の増設に向けて継続検討中	・平成28年度社会福祉施設整備費補助金を活用し、北広島市西の里東地区に1ユニット8名規模のグループホームを増設することを決定した	→
指定特定相談支援事業所設置 ・相談支援事業所設置へ向けた検討【福祉企画室】	・指定特定相談支援事業所設置に向けて国の動向を注視しつつ継続検討している	・札幌市清田区の札幌ワークセンター内に、指定特定相談支援事業所「ポプルス」を開設した(1月)	
自立援助ホームの開設運営 ・自立援助ホーム運営懇談会の設置(4月) ・利用者の就労支援計画の策定【陽だまり】	・第1回運営懇談会の開催(4月) ・児童自立生活支援計画の策定(7月) ・補助指導員の増員・支援体制の強化(8月) ・前庭・駐車場等外構整備工事の実施(8月~10月) ・栄養バランスのとれた食事を提供と、宅配業者からの食材購入を行うことで食事サービスの効率化を図った(8月) ・関係職員を研修等に積極的に参加させ、指導力の向上や人材育成に努め、相談・就労支援等の充実強化を図った	・向陽学院との継続的連携(4月~) ・児童自立支援計画票の策定・改訂(5月) ・北海道若年者就職支援センター(ジョブカフェ)、わかものハローワーク等の活用・連携(5月~6月) ・栄養バランスのとれた食事提供と食事サービスの効率化の観点から宅配業者の活用(1日1食から2食分の食材購入)拡大(8月) ・利用者の社会体験活動の充実化(7月~9月) ・関係職員の施設外研修成果等を勉強会として実施(8月、11月)し、虐待防止や指導力の向上など人材の育成に努めた ・定員5名を充足(3月)	
定員充足及び定員利用率の向上	定員充足に向けて高等養護学校、各関係機関等と連携を綿密に図り、各事業のPR・施設見学・作業実習の受け入れ等を継続して利用者の状況にあった作業や生活支援内容等の検討を行い、新規利用者の獲得に努める		
・現A型利用者の最低賃金支給者の拡大及び最低賃金支給を前提とした新規A型利用者の獲得に努め、3年後までに定員利用率100%に近づける ・積極的にハローワークとの連携を図るとともに、高等養護学校等にもアプローチをかける ・同時におおぞらA型利用者の作業内容や種類について見直しを図り、専属の職業指導員の配置し作業指導の充実に努める ・A型利用者の作業能力向上により、パート及び契約職員の人件費の圧縮を図る ・就労移行支援利用者の定員の充足を図るため高等養護学校や特別支援を行っている専門学校に訪問し実習生受け入れを行う ・同時におおぞら施設のB型利用者の作業内容や種類についての見直しを図り障害程度に見合った段階的作業を検討実施する。また訓練しやすい作業環境の工夫を行い、施設全体の利用満足度を高めていく(検討協議後実施へ)【おおぞら】	・高等支援学校等から積極的な実習生の受け入れを行った ・A型利用者の受け入れ実施した ・B型利用者の作業内容等について見直しを図り、障害程度に見合った段階的作業を検討実施した ・就労移行支援事業利用者が一般就労となり、現在は定着支援の実施中 ・新規利用者 就労移行支援 2名 就労継続B型 3名 就労継続A型 3名 合計8名	・積極的にハローワークとの連携を図り新規A型利用者の獲得に努めた ・就労移行支援利用者の定員の充足を図るため高等養護学校や特別支援を行っている専門学校に訪問し実習生受け入れを行った ・同時におおぞら施設のB型利用者の作業内容や種類についての見直しを図り障害程度に見合った段階的作業を検討実施した。また訓練しやすい作業環境の工夫を行い、施設全体の利用満足度を高めるよう努めた ・新規利用者 就労移行支援 1名 就労継続A型 10名 就労継続B型 5名 合計 16名 ・平成25年度からの中期計画において、3ヵ年で定員充足100%を目標としたが、1年前倒して目標達成となった。(平成27年度当初在籍105名予定) ・利用者 就労移行支援 3名 就労継続A型 27名 就労継続B型 68名 合計105名	→

計 画 内 容	平成 2 5 年度実施報告	平成 2 6 年度実施報告	平成 2 7 年度
<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者確保の促進（高等養護学校・福祉関係団体との連携、P R・見学・実習の受け入れを継続実施） ・第 1 段階 利用者の定員充足 100%を目指す 目標値：B 型事業 現員+5 名 生活介護 現員+2 名 ・在籍利用者(通所)の利用率 UP に向けた支援【 エ イ ト 】 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校からの実習を積極的に受け入れ(25 人) ・施設見学の受け入れ(27 団体) ・新規利用者 就労継続 B 型 2 名 就労移行 2 名 合計 4 名 ・3 月末現員 生活介護 42 名 就労継続 B 型 31 名 就労移行 3 名 第 2 期中期計画の初年度目標利用者数に達せず 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校等からの実習受け入れ(12 件) ・施設見学の受け入れ(20 団体) ・支援課・営業課合同による特別支援学校への訪問活動を実施し、施設利用と印刷受注の促進に努めた ・新規利用者 生活介護 2 名 就労継続 B 型 6 名 就労移行 2 名 合計 10 名 ・3 月末現員 生活介護 44 名(定員 40 名) 就労継続 B 型 36 名(定員 34 名) 就労移行 5 名(定員 6 名) ・総定員 80 名に対し現員 85 名と総体充足率は 106%となった 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員満足の維持と実利用率の向上を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・高等養護学校や実施機関等を訪問し各事業の P R 等を行う、また、相談支援事業所等と情報交換を行い連携して新規利用者確保の活動を行う ・通所による生活介護利用者の利用率増に注力し、利用率 85%を目指す ・フェリス利用率増(利用者個々の接客技術向上指導をしながら利用率増を目指す【 ワ ー ク 】) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高等養護学校及び区内の相談支援事業所等との関係強化により 5 名の実習生(B 型利用希望者 1 名、生活介護利用希望者 4 名)を受け入れ、内 2 名が年度内の既利用者となり、4 名(内 1 名エルフィンホーム利用者)が次年度の新規利用者に繋がった 	<ul style="list-style-type: none"> ・高等養護学校及び相談支援事業所等との関係強化・協働により、施設入所支援事業 3 名、就労継続支援 B 型 4 名、生活介護事業 9 名、B 型と生活介護併用 1 名の新規利用者を受け入れるに至った ・生活介護事業の利用率については、サービス内容等の工夫等を行ったことで 87.3%となり目標値を達成した ・フェリスについては、近郊に民間のクリーニング店ができたことで収入減となり、また、接客等が難しい利用者が増えてきたことから 9 月 30 日を以って閉店するに至った 	
<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者確保のため、各学校へ就労移行支援の取組みを重点的に P R する ・就労移行のサイクルを確立させ、就職希望の利用者が集まる施設を目指す【 セ ル プ 】 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者の獲得のため高等養護学校 3 年生の実習を積極的に受け入れていくとともに、2 年後、3 年後の利用者確保に向け、1・2 年生の体験利用も年間を通して受け入れた ・就労移行支援を積極的に行い高等支援学校や各相談支援事業所、就業・生活支援センター等から就職を希望している利用者の紹介が出てきた 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者の獲得のため見学や実習を積極的に受け入れているが、2 年後、3 年後の利用者確保に向け、高等養護学校 1・2 年生や中学生(特別支援学級)の体験実習も年間を通して受け入れた ・就労移行支援を積極的に行い高等支援学校や各相談支援事業所、ハローワーク、就業・生活支援センター等から就職を希望している利用者の紹介が出てきた 	
<ul style="list-style-type: none"> ・入居利用者の定員充足の活動を行いながら、サービスの質の向上を図り円滑な事業運営をする【エルフィン】 	<ul style="list-style-type: none"> ・高等養護学校等との連携強化、実習生の受け入れ等(4 月~) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高等養護学校から見学・実習生の受け入れ(7 月・9 月・1 月) ・新規受け入れ(7 月・9 月・3 月) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進活動の強化、養護学校・行政関係機関等への P R、見学・実習の受け入れ促進【福祉企画室】 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設において継続検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設において、養護学校等への P R を強化し、見学・実習の受け入れ促進に努めた 	
<p>送迎サービスの体制強化</p>	<p>既存の通所送迎サービスについて、利用者ニーズを踏まえた送迎内容の検討を進め、更なるサービスの充実を図る</p>		
<p>通所利用者の送迎サービスの継続 (新札幌・近隣)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度から実施した新札幌送迎サービスを継続実施 ・利用ニーズによってルート、停留所の追加変更等を検討【 エ イ ト 】 	<ul style="list-style-type: none"> ・新札幌送迎を継続実施(エイト 4 名利用ほか実習生利用) ・近隣地域へドア to ドア送迎を継続実施(12 人/日) ・重度者、通所困難者等の送迎を個別対応により適時実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・通所送迎サービスについて、近隣地域及び新札幌駅への定時送迎を継続実施した他、生活介護事業等の一部利用者について、<u>自宅までの個別送迎を開始した</u> 新札幌間の定時送迎：5 名+実習生 近隣地域へのドア to ドア定時送迎+：7 人 自宅までの個別不定時送迎：5 人 	
<p>送迎サービスエリアの拡大検討 【 ワ ー ク 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望時間及び利用者間の人間関係に配慮した乗車割、走行ルートの変更等を行い、利用者ニーズに寄り添ったサービスの充実に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・通所による生活介護利用者の利用増に合せた送迎サービスエリア拡大を図った。 	


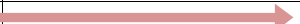
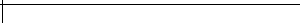
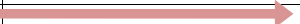
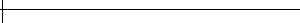


計 画 内 容	平成 2 5 年度実施報告	平成 2 6 年度実施報告	平成 2 7 年度
通所送迎サービスの拡大検討 ・利用者ニーズを調査し、近隣地域の範囲、JR 駅・地下鉄駅などへのアクセス経路の拡大検討 【福祉企画室】	・現行「新札幌駅 西の里施設」送迎バスの定時運行の他に 8 月からドア to ドア送迎をモデル実施した	・近隣地域及び新札幌駅への定時送迎の他、利用者ニーズに対応したドア to ドア送迎を各施設において実施し、送迎サービスの充実に努めた	
福祉サービス第三者評価の受審 ・事業運営における問題点の点検 【法人本部】	事業運営における問題点を具体的に把握し、サービスの質の向上に結びつけることができるよう、第三者評価の受審に向けて準備を進める ・8 月 2 7 日開催の幹部職員研修会で、吉村監事から第三者評価事業について講義を受け、評価基準や評価のポイントなどを参考に、各施設で自己評価しつつ問題点の点検に取り組んでいる(研修テーマ「確かな自己評価で満足を共有する施設経営～第三者評価による利用者満足の経営改善～」)	・11 月 1 2 日に「福祉サービス第三者評価に関する事前説明会」を開催するとともに、平成 2 7 年度からの受審に向けて、 <u>全事業所において自己評価を実施した(1 月～2 月)</u>	・福祉サービス第三者評価の受審

2. 就労支援事業の改善等			
工賃収入の安定的確保 ・新規開拓と商品販売開発は従来からの継続 ・営業は少ない人員構成の中で効率的な活動していくため配送等の無駄な動きを徹底排除した、新たな営業活動のスタイルを確立する ・布団絨毯の集配、商品関係の配達等については営業企画課でフォローする体制を構築 【クリーナース】【おおぞら】	工賃収入の安定確保のため、得意先の新規開拓及び販売商品の開発等を継続して行い、マッチング事業や優先発注制度等を積極的に活用する ・計画継続中 【おおぞら】 ・施設の生産能力に合わせた新規開拓と商品販売開発については継続中。 ・布団絨毯の集配は外注先に集配・集金業務の 7 月から委託し、担当営業を本来の営業活動中心に展開をさせた。また、配送の自社の人員を含めた外注化も交渉中で、本年度内には完結させたい 【クリーニング事業部】	・新規開拓、減額、解約等によりクリーナース・おおぞらを含めた 2 6 年度は(2, 1 0 0 千円)増の売上げを確保。無駄をなくした営業活動に取り組み現在営業人員 1 名不足の状況が続いている ・布団・絨毯を含めた外注化は、問題なく進行している。また、 <u>自社便見直しも進めているが、2 7 年度からの新規物件導入もあり、新規外注ルートを含めた検証を早急に行う事とした</u> 【クリーニング事業部】	
マッチング事業の活用 ・法人他事業所や地域企業とのマッチング事業を検討、目標工賃達成指導員を中心に開発を進める(部内検討協議) 【クリーナース】【おおぞら】	・法人他事業所や地域企業とのマッチング事業について具体的な進展はないが、北広島市就労情報交換会においてに関する情報交換を継続して行っている 【クリーナース】 ・計画継続中 【おおぞら】	・法人他施設との軽作業共同受注に関する情報交換会を実施。また、関係機関や地域企業との情報交換や相互見学も併せて実施した 【クリーナース】	
・得意先の新規開拓(継続・強化・新規顧客開拓チームの編成) ・既存顧客の深耕によるインスタシアアの拡大/担保物件の獲得 ・紙媒体に限定しない周辺ニーズの取り込みと企画・提案型の営業活動の進展 ・マッチング事業及び平成 2 5 年度施行の新たな優先発注制度等の積極的な活用 ・スクリーン印刷の販売促進 【印刷事業部】	・既存の営業体制内に新規顧客開拓担当者を編成し進展を目指したが既存顧客対応に時間を費やし、当期の新規取引顧客数は 194 件、受注額は 25, 719 千円にとどまり課題を残す結果となった ・既存取引顧客でのシェア深耕・拡大実績は 1, 044 物件、受注額は 99, 460 千円、前年比 112%と一定の成果を得た一方で定期刊行物等の担保物件の獲得には苦戦を強いられた ・イベント関連品・CD/DVD 媒体・広告看板・WEB 等の周辺ニーズの受注を継続促進 ・4 月に施行された「障害者優先調達推進法」については、近隣市町村への PR 営業活動を行ったが、大多数の自治体において具体的方針が策定されていない状況のため、今後の動向に注視して積極的な受注活動を継続することとする ・スクリーン印刷の売上実績は、物件毎の受注ロット減等により、前年比 72. 6%の 5, 433 千円と低調に推移した	・新規顧客開拓推進者を定めて新たな得意先の獲得に努めたが、営業員の退職等により十分な営業活動が展開できなかったため、 <u>体制補強を含めて来期の継続課題とした(新規取引顧客数 183 件、受注物件数 235 件、受注額 17, 499 千円)</u> ・ <u>既存顧客でのシェア深耕・拡大実績は 1, 113 物件、受注額は 100, 652 千円、前年金額比で 105. 2%と微増した</u> ・紙媒体に限定しない印刷周辺ニーズ(イベント関連品・CD/DVD 媒体・広告看板・WEB 関連等)を取り込むとともに、関連業務を含むワンストップサービスを継続して提案した ・ <u>障害者優先調達推進法の活用について、北広島市をはじめ近隣市町村への訪問 PR 活動を継続した。一部の自治体から新規受注を得たが官公需全体を押し上げるに至っていないため、自治体の動向に注視して積極的な受注活動を継続する</u> ・ <u>スクリーン印刷の売上げは、5, 827 千円・前年比 105. 5%とほぼ横ばいで推移した</u>	

計 画 内 容	平成 2 5 年度実施報告	平成 2 6 年度実施報告	平成 2 7 年度
<ul style="list-style-type: none"> 得意先の新規開拓 軽作業の確保 ウエス原材料の確保 <p style="text-align: center;">【 セ ル プ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> B型利用者向けの作業(タオルリネン等)の獲得に力を入れるとともに機械設備計画と連動しながら処理能力の増を図り、新規物件を受け入れられる体制作りを行う <p style="text-align: center;">【 ウェルプラザやまはな 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> マッチング事業との連携により数件ではあるが新規受注に繋がっている。また、現在取り引き中の顧客の紹介により、新規受注、新規取引に繋がっている物件も出てきた <p style="text-align: center;">【 セ ル プ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 50 kg乾燥機を更新したことで処理能力が上がり、若干余力は出てきたが、新規物件を受け入れるところまでは至っていない <p style="text-align: center;">【 ウェルプラザやまはな 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在取り引き中の顧客の紹介やHPなどで、新規受注、新規取引が増えたことにより、受注の安定および作業の確保ができた <p style="text-align: center;">【 セ ル プ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械の更新により処理能力が上がったことで若干余力が出てきた分、作業量を増やしていく体制を整えた <p style="text-align: center;">【 ウェルプラザやまはな 】</p>	
<p style="text-align: center;">就労支援体制の整備及び強化</p>	<p style="text-align: center;">各事業所における工場の生産体制や組織体制ならびに業務内容等について見直しを行い、O A化による事務処理の効率化を進め、就労支援体制の整備及び強化を図る</p>		
<p style="text-align: center;">工場生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> おおぞら新工場建設移設後の新マニュアル作成や各関係機関提出書類等の見直し 工場の生産利益を確保できる人員設備等の体制づくり(部内協議後実施) <p style="text-align: center;">【 クリーナース 】【 おおぞら 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新設した機械化に伴う生産性を高めるための人員配置と不効率部分の工程を見直し超過勤務と蒸気使用量の削減に至った <p style="text-align: center;">【 クリーナース 】【 おおぞら 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産体制効率化を図るため、作業棟内一部レイアウト変更 おおぞら新工場の各関係機関提出書類等の作成実施 <p style="text-align: center;">【 おおぞら 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームクリーニング外注化に伴い、作業場における品物の流れの効率化を図るため、作業従事者の動線を意識した職場レイアウトの変更を行った 新設の機械化に伴い作業工程と人員配置を見直し超過勤務と蒸気等のエネルギー削減に努めた 工場の生産効率アップの為、人員配置やレイアウト変更など体制見直しを随時実施 新作業棟一斉休日 前年比2日増(年間26日)【 おおぞら 】 	
<p style="text-align: center;">ホームクリーニングのスリム化</p> <ul style="list-style-type: none"> ホクレンの直営店舗数を効率的に整理しつつ、一部外注委託化も検討して店舗展開のスリム化を目指す スリム化による人員再配置も合わせて検討する(店舗展開 スリム化実施) <p style="text-align: center;">【 クリーナース 】【 おおぞら 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームクリーニングの外注化を次年度より実施することとし、ホームクリーニング担当職員4名のおおぞら施設異動を行った <p style="text-align: center;">【 クリーナース 】【 おおぞら 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームクリーニング外注化により、直営店舗の人員等も含めた交渉を展開していたが、急ぎょ下洗いのみの外注化となったため、26年度の検案事項となった。また、外交員については、各々の営業的なスキルが低いことから、顧客の新規獲得に繋がっていないため、定期的な勉強会を行い、問題点の把握とスキルアップにつなげたい。外交員の見守り業務についても、現在3箇所程しか実施されていないため件数を増やしたい <p style="text-align: center;">【 クリーニング事業部 】【 おおぞら 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームクリーニング外注化によりホーム部門人員4名の施設異動に伴い、全部門の作業工程に合わせた内部異動を行った <p style="text-align: center;">【 クリーナース 】【 おおぞら 】</p>	
<p style="text-align: center;">新外交員制度の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 新外交員制度を本格的に運用開始し外交展開の規模拡大を図る 外交員による見守り業務の浸透を図る <p style="text-align: center;">H24.10月より顧客へのアプローチ開始</p> <p style="text-align: center;">【 クリーナース 】【 おおぞら 】</p>	<p style="text-align: center;">事業部内 O A システムの整理</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業部内パソコンの入替、ネットワークシステムの整備と管理委託(部内で現状確認を含め検討) <p style="text-align: center;">【 クリーナース 】【 おおぞら 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームクリーニング外注化により、店舗展開のスリム化も実施し、営業時間の短縮など固定費削減に努めた 外交員の定期的な会議を月に1回実施し、スキルアップの勉強会や問題点を検討しあい、今後の外交員拡大を図りたい。 見守り業務については、引き続き実施しているが、クリーニング集配を含めた新規の件数が増えない状況である <p style="text-align: center;">【 クリーニング事業部 】【 おおぞら 】</p>	
<p style="text-align: center;">事業部内 O A システムの整理</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業部内パソコンの入替、ネットワークシステムの整備と管理委託(部内で現状確認を含め検討) <p style="text-align: center;">【 クリーナース 】【 おおぞら 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 下半期より次年度に掛け順次更新予定 <p style="text-align: center;">【 おおぞら 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設内パソコンの入替、ネットワークシステムの整備と管理実施 <p style="text-align: center;">【 おおぞら 】</p>	

計 画 内 容	平成 2 5 年度実施報告	平成 2 6 年度実施報告	平成 2 7 年度
集配業務の見直し ・ 基準寝具ワンマンルート安定運用を図るため再度見直しを行う(部内検討協議・見直し案作成) 【おおぞら】	・ クリーナース及びクリーニング事業部との3者で連携し、ルートについて検討中 【おおぞら】 ・ 曜日により2人乗車であった室蘭方面の寝具集配トラックを、1名乗車として月額約21万円の費用削減となった。今後も積極的な合理化に取り組む 【クリーニング事業部】	・ クリーナース及びクリーニング事業部との3者で連携し、ルートについて検討中 【おおぞら】 ・ ルート編成については、顧客の状況及び物量を確認し、安定した集配運用と費用を的確に確認し努めている 今後も、クリーナース、おおぞら及びクリーニング事業部にて3者連携集配ルートを検討する 【クリーニング事業部】	
収益改善 - 収益確保 (共通) ・ 8期連続赤字決算からの脱却～製販合理化を含めた収益改善、低収益受注物件の精査検証等 【エイト】		・ 前期に引続き、受注と収益確保に向けた営業活動に取り組んだ ・ 低収益物件・不採算物件の精査と適正価格での受注確保に努めるとともに、受注額・収益率・潜在シェア等を基礎とした顧客の分析・ランク付けを行い、シェア拡大と収益が望める得意先への深耕活動を進めた ・ 下半期当初から受注が伸びずに苦戦を強いられ、計画比減が続いたが、年度末において統一地方選挙による特需があったことから、年間売上高は補正予算比+4,483千円100.7%と計画額を確保した ・ 月次・年次単位における納期の平準化を図り、極端な生産集中による生産ラインへ過負荷と生産コスト増を低減するために、受注アプローチにおいて可能な限り納期調整に努めた	
低稼働率・非効率・低収益生産ライン見直し (支援1・2課) ・ 稼働率、運用コスト、収益性等を考慮した中で非効率生産ライン、低稼働率・高コスト・低収益生産部門のスケール調整や合理化を適時実施 【エイト】	・ 活版印刷部門を廃止(実施済) ・ オフセット名刺等印刷部門を廃止(実施済) ・ マスター印刷部門を廃止(実施済) ・ プリプレス部門のフィルム版生産を廃止(実施済) ・ 複写印刷部門の廃止決定/リョービ560オフセット印刷機の廃止と付帯する断裁機等の設備更新取り止め ・ 日次の生産設備の稼働率分析と生産性を考慮したライン調整 ・ IC オンデマンド印刷機の印刷積算料の改定(値上)	・ 老朽化した複写印刷ラインを停止し、外注化するとともに、付帯する断裁機等の後工程設備の更新を見送った ・ ペーパー版を使用したマスター印刷を休止し、軽オフ印刷物件をオンデマンド印刷へ移行した ・ 中期計画に基づく設備投資について、印刷市場の動向や需要予測、利用者の障がい状況やニーズ等を踏まえて、生産活動の持ち方とともに、見直し・再検討を行うこととした ・ 昨年度に導入した電力デマンド監視システムの活用を進め、最大需要時の電力使用を生産部門全体で制御し、契約電力のデマンド値超過を防いだ	
デジタル印刷/オンデマンド印刷への対応 (支援1課) ・ オンデマンドによる小ロット・短納期等への対応及び多様化するクライアントのニーズへの対応。 ・ デジタルコンテンツの持ち方検討 【エイト】	・ ニーズ対応や生産効率等を考慮して、物件によりオフセット印刷からデジタル印刷へ生産をシフト、オンデマンド部門の生産量は想定以上に増加 ・ デジタルコンテンツの持ち方については、人員配置・人材状況等も踏まえて継続検討	・ 顧客ニーズ、設備稼働状況、生産能力、製造コスト等を勘案して、PODとオフセット印刷の生産調整を図った ・ デジタルコンテンツの持ち方については継続検討中	
組版部門の機器の統一化に向けた検討 (支援1課) ・ 作業効率の向上等に向けた編集・組版機器(システム)の統一化を検討 【エイト】	・ 既存システムの生産性・効率性、人員体制等を考慮し、組版OSの統一化を目指してエディアン機からマック機へ段階的に移行し、次年度も継続	・ 組版・集版部門において、ウィンドウズデータ変換システムを導入し、DTP作業の効率化を図った ・ 組版システムのOS統一によるDTP作業のオペレーションを一元化する検討を進めたが、計画通りに進捗せず来期へ持越し	
印刷・製本部門の作業体制の構築 (支援2課) ・ 印刷から封入、仕分、発送等のワンストップサービス等の受注に対応する作業体制づくりを進める 【エイト】	・ ワンストップサービス及びクロスチャネル対応として、受注物件毎に作業編成・工程管理を行い、作業効率の向上と納期に対応	・ プレス・ポストプレス工程の管理により、生産能力の有効活用と生産リードタイムの短縮に努めた ・ ニーズの特殊性や納期、収益性を考慮し協力外部業者の活用・連携を強化した	

計 画 内 容	平成 2 5 年度実施報告	平成 2 6 年度実施報告	平成 2 7 年度
業務効率化の取り組み ・事業部内の業務システムを効率的・効果的に運用し、必要な見直しや将来的な改修等を計画するための全体調査を実施 【 エ イ ト 】	・部門内業務システム(受注・生産・進行・納品・資材・勘定・コスト・統計等)の大規模改修については、専門技術職の不足により計画通りに進展せず、来期以降のシステムの再構築に向けて継続検討	・ <u>部門内の業務管理システムについて、今後の運用方法や次年度以降の新システムの導入に向けた検討を開始した(印刷事業部と共同)</u> ・ <u>各部署PCのOS移行は完了せず、来期も継続して実施</u>	
クリーニング及び印刷部門の営業体制の見直し ・クリーニング営業と印刷営業の一体化に向けた検討 【法人本部】			
新たな作業科目の検討・開始	多様化する利用者ニーズや障がいの特性等に応じた、新たな作業の開拓確保や、施設内にとらわれず施設外就労についても検討を進める		
新たな生産活動の開始 ・新しくリネン袋たたみ業務、ハンガー回収業務を旧恒心寮で開始する 【クリーナース】	・タオルやユニフォーム、大口私物品のたたみを軽作業の位置づけとして障がいの特性に応じ行っている。ハンガー回収仕分け作業は、ホームクリーニング外注化により、量的な部分で減少したため今後、外交員及び産業部門での回収状況を把握したうえで検討を継続する	・ <u>下期よりフルタイム作業や通所が困難な障がい者のニーズに対応できる送迎サービス付きの軽作業事業を立ち上げた。作業は時間的に制約のないタオルたたみや作業場で使用しているハンガー清掃を基本としている</u> 【クリーナース】	
多様化するニーズへの対応、作業領域拡充の為に軽作業等の進展 【 エ イ ト 】			
印刷に限定しない作業の確保に向けた検討 (全課共通) ・食品検品、加工品や金具部品の組立等を含む受託作業の導入 ・マッチング事業やコンサルティング等の積極的な活用 ・オリジナル製品の開発に向けた検討を進める 【 エ イ ト 】	・軽作業班を編成し、脱臭剤の受託製造作業、ゼリーの検品、菓子箱の組立て、金具加工部品の組立て、ペットボトルのラベリングなどの作業を積極的に取り入れ、印刷事業に限定しない生産活動を開始 ・オリジナル製品開発は当面見送り	・前期に引き続き軽作業を実施。新規作業として、乳製品パッケージのラベル貼作業を開始 ・北海道電力のリサイクル脱臭剤の製造作業は、北海道電力側の事情により本年度は生産休止	
障がいの重度化、多様化に対応できる軽作業の開拓 ・現行作業の役割分担などの検討 【各事業所】	・各施設において継続検討中	・パン製造部門において、焼きから袋詰めまでの作業を細分化し、その利用者に応じた作業を行い、さらに各販売先に職員とともに赴き、販売員として就労した 【ワーク】	
施設外就労の実施 ・4月から準備を始め準備が出来しだい開始予定 ・清掃等の作業場と契約し利用者5～6名程度(1ユニット)で施設外就労を行う 【セルプ】	・平成26年4月より施設外就労としてワークセンターの清掃業務を実施予定。契約金額、清掃内容、利用者選定、シフト等、実施に向けた調整を進めた	・ <u>4月より施設外就労として札幌ワークセンターの清掃業務を実施した。また9月から老人施設の洗濯業務を、11月から同施設の清掃業務を受託し、現在2ユニットで作業を行っている</u>	・さらに新規1ユニット(3名程度)の施設外就労契約先を開拓

計 画 内 容	平成 2 5 年度実施報告	平成 2 6 年度実施報告	平成 2 7 年度
3.人材の育成等の取り組み			
福祉事業職員ならびに就労支援事業職員の資質向上	当法人の様々な職種に応じた職員研修等の実施と、内外部において必要な研修の参加を促進し、各事業部はもとより法人全体で職員の資質向上に取り組む		
福祉事業職員の資質向上 ・資質向上のため内部外部での研修参加を促す ・特に工場勤務の福祉職員については内部での研修会の機会を増やす 【クリーナース】 【おおぞら】 【エルフィン】	・資質向上のため内部外部での研修参加を促す ・特に工場勤務の福祉職員については内部での研修会の機会を増やす 【クリーナース】 ・資質向上のため内部外部での研修参加を推進 ・作業棟勤務の福祉事業職員については内部研修会実施 【おおぞら】 ・各種研修・セミナーへの参加（随時） ・世話人会議にて、伝達研修を定期的に開催し資質向上に努めた 【エルフィン】	・月 2 回とした個別支援計画作成会議の他に工場勤務の福祉職員に対して個別に勉強会を実施し福祉に関する知識等、資質の向上に繋げた 【クリーナース】 ・資質向上のため内部・外部の研修参加を積極的に実施 ・福祉事業職員全員を対象とした内部研修会を毎月実施 【おおぞら】 ・知的障がい者の高齢期の課題（5 月）、虐待防止（7 月）、発達障害の特性理解（9 月）、 <u>インフルエンザについて（11 月）</u> 等、世話人への伝達研修等の機会を設け資質の向上に努めた 【エルフィン】 ・C S P の援用に関する支援員への伝達研修や <u>虐待防止研修（11 月）</u> の機会を設け資質向上に努めた 【陽だまり】	
就労支援事業職員の資質向上 ・資質向上のため内部外部での研修参加を促す。また幹部職員とのヒアリングも随時実施する 【クリーナース】 【おおぞら】	・職員の資質向上のため各研修会の参加奨励やヒアリングの中で適正な人員配置、作業効率の向上、機械メンテナンスを含めた指導を推進した 【クリーナース】 ・資質向上のため内部外部での研修参加を推進 【おおぞら】	・契約、パートを含めた全職員を対象に内部研修会を定期的開催し、その中で現場の意見を吸い上げる対話型としながら資質の向上に努め、実態に即した施設運営に繋げた【クリーナース】 ・資質向上のため内部外部での研修参加を促す。また職員とのヒアリングも随時実施した 【おおぞら】	
福祉事業職員及び就労支援事業職員の資質向上 ・福祉事業職員向け研修の定期実施 ・細分化によるきめ細かい研修(ユニット研修/ディベート方式)の実施 ・サービス管理責任者の育成 - 相談支援従事者研修等への参加(就労・介護/相談支援) ・スキルアップや専門性の向上、自己啓発等を目的とした研修等への積極的な参加 【エイト】	・福祉事業職員研修を月 1 回、利用者支援カンファレンスを毎日、利用者支援連絡会議を週 1 回開催 ・職業指導員に対する個別研修を適時実施 ・サービス管理責任者の養成のための相談支援従事者研修に 1 名受講 ・外部研修への参加 ・ディベート研修は実施に至らず、持ち方について継続検討	・福祉事業職員研修を月 1 回、利用者支援カンファレンスを毎日、利用者支援連絡会議を週 1 回開催し、専門性の習得、援助技術・資質の向上、支援情報等の共有を図った ・職業指導員・生活支援員に対する個別研修、ユニット研修を適時実施した ・福祉専門職のキャリアアップを重視した外部研修及び専門性等の向上を目的とした外部研修へ参加 ・ <u>サービス管理責任者研修 / 相談支援従事者研修 ~ 複数名の受講エントリーを行うも選定されず、1 名のみが受講</u>	
就労支援事業職員の資質向上 ・取次店職員研修 【ワーク】	・福祉事業職員について年間の外部研修を定め、各支援員に合わせた研修に参加させるとともに、内部研修として利用者を正しく把握する方法として I C F についての勉強会を実施した。職業指導員については、11 月に清掃事業者に派遣し、清掃技術等の向上に努めた		
福祉事業職員の資質向上 ・福祉事業職員研修（対象職員） ・職業指導員の資質向上ならびに指導力向上 ・清掃技術向上の為、職業指導員の外部研修受講 ・利用者の作業能力を引き出す指導力向上の為、外部研修受講 【ワーク】		・福祉事業職員について年間の外部研修を定め、各支援員に合わせた研修に参加させ、職員会議等でその研修についての意見発表を行い、支援に対する意識の醸成と知識の共有を図り、介護技術について職員間で実地研修を行った。職業指導員については、7 月に清掃事業者に派遣し、清掃技術等の向上に努めた ・ <u>支援員 1 名が介護福祉士の資格を取得し、介護技術の向上に努めた。</u>	
介護技術の向上 ・障がいの重度化・多様化に対応する為、障がいに合わせた職員相互による内部自主研修及び外部研修受講を積極的に行う 【ワーク】			

計 画 内 容	平成 2 5 年度実施報告	平成 2 6 年度実施報告	平成 2 7 年度
福祉事業職員及び就労支援事業職員の資質向上 ・障がい特性の習得等研修を行う(随時) 【 セ ル プ 】	・外部の研修に積極的に参加するとともに、職員会議やミーティング等で情報交換を行い、利用者の特性について認識を深めた	・外部の研修に積極的に参加し、制度施策、障がい特性、障がいケアマネジメント等に対する認識を深めた ・職員会議やミーティング等で情報交換を行うとともに、外部研修のフィードバックやICF、発達障がい、うつ病等の精神障害についての内部研修を行い、理解を深めた	
法人主体による職員研修の充実 ・新任職員研修の実施 ・勤続5～10年の中堅職員の研修を実施 ・幹部職員の研修を実施 【総務課】	・法人の福祉事業活動や関係法令の基本的知識習得のため、新任職員研修を実施した(6月) ・法人の様々な職種についての知識・理解を深めるため、中堅職員研修を実施した(8月) ・法人幹部として職位の重要性と利用者・職員とともにいかに事業成果を収め事業経営に対応するかを目的に、幹部職員研修を実施した(8月)		
職務に関連した資格取得を推奨	職員等のスキルアップを目的として、資格手当等を活用させ其々の職務に応じた資格取得を推奨する		
福祉関係の資格取得を推奨 ・特に今後当法人でも必要とされる、福祉関係の介護ヘルパーまたは福祉主事取得は推奨する 【クリーナース】 【おおぞら】 【エルフィン】	・総合支援担当の生活支援員が社会福祉士資格取得中 【クリーナース】 ・安全衛生管理者ならびにクリーニング師、病院寝具管理士、障害者職業生活相談員資格取得、また社会福祉主事取得に向け1名勉強中 【おおぞら】	・福祉主事取得のため職員2名が現在受講中 【クリーナース】 ・特に福祉関係(社会福祉主事等)や生産業務に役立つクリーニング師を中心とした資格取得推奨を行った 【おおぞら】	
資格取得の推奨 ・サービス管理責任者研修 ・社会福祉主事任用資格 【 エ イ ト 】	・相談支援従事者研修 1名受講 ・社会福祉主事任用資格 1名取得 ・社会福祉士 1名取得(平成24年度期受講) ・精神保健福祉士 1名取得(平成24年度期受講)	・サービス管理責任者資格 1名取得 ・社会福祉主事任用資格 1名取得(平成26年度期) ・社会福祉士 1名受講中(平成26～27年度期)	
資格取得の推奨 ・社会福祉主事任用資格(1名) ・介護関係資格取得奨励 【 ワ ー ク 】	・支援員1名が社会福祉士、支援員2名が介護福祉士の資格を取得し、職務に活かしつつ他の支援員の資格取得への啓発を図った。また、11月より支援員1名が社会福祉主事任用資格取得のため、現在受講中	・支援員1名が福祉実践の基礎となる社会福祉主事任用資格を取得し、職務に活かしつつ他の支援員の資格取得への啓発を図り11月より支援員1名が社会福祉主事任用資格取得のため、現在受講中 ・支援員2名が精神保健福祉士、介護福祉士をそれぞれ取得した。	
計画的な人員配置と育成	定年退職や継続雇用任期満了職員等の状況を踏まえ、若手職員の採用と育成ならびに業務量に応じた適正な人員配置を計画的に実施する		
計画的な採用と職員の育成 ・各課で若手の次世代幹部候補を計画的に採用し育成する、また、職場風土の改善を図る意味での現職員の育成も図る 【クリーナース】 【おおぞら】 ・人材育成、多能技術習得、業務の相互補完及び組織の活性化等を図るための職域連携と人事異動の実施(継続・適時) ・後継者育成のための計画的採用 【 エ イ ト 】	・若手職員の採用については、ホームクリーニング縮小化の進捗状況により部門別の収支バランスを踏まえた生産性を考慮し必要人員の構成により採用を見送った。また、現職員について個々のミーティング等を増やし意見を受け止めながら法人の方向性について説明を行った 【クリーナース】 ・就労支援事業活動(生産活動)の合理化・見直しを行う中で、オペレーションの変更や人事異動による人員配置の見直し ・職種間連携による業務補完に努め多能OPの育成に努めた ・4月2名、10月1名の施設間人事異動を実施 ・専門職の補強、後継者育成を目的とした求人を行うも計画通りに人材確保が進まず、次年度持越 【 エ イ ト 】	・若手職員の採用については、部門別の収支バランスを踏まえ、採用を見送った。しかし、今後の新工場生産体制を安定確立するため世代交代と人材育成を考慮し継続して検討する 【クリーナース】 ・就労支援事業活動(生産活動)の合理化・見直しを行う中で、オペレーションや人員配置を適時変更 ・職種間連携による業務補完に努め、多能OPの育成に努めた ・新規雇用によりプリプレス部門に4月1名、5月1名の人員補強を実施 ・施設間人事異動及び新規雇用により情報処理部門に2名の人員補強を実施 ・専門職の補強、後継者育成を目的とした生活支援員・職業指導員等の求人を行うも計画通りに人材確保が進まず来期へ持越 【 エ イ ト 】	

計 画 内 容	平成 2 5 年度実施報告	平成 2 6 年度実施報告	平成 2 7 年度
福祉職員の増員 ・福祉職員 1 名採用予定 福祉の専門職として生活支援員、就労移行支援員を各 1 名配置し、人材育成と後継者育成を行う 【セルブ】 職員の確保と後継者の人材育成 ・2 名採用予定 職業指導員 1 名、施設外就労職員 1 名 【セルブ】 後継者育成 ・次世代を担う幹部候補生育成の為、新卒 1 名採用 【ワーク】	・福祉職員 2 名増員 (生活支援員 1 名、職業指導員 1 名) ・利用者支援の基礎を学び、生活支援員・職業指導員としての質の向上に努めた	・施設外就労の作業指導員として 2 名を採用 ・来年度の事業強化と後継者育成を図るため、新年度新規福祉職員として 2 名採用(作業指導員 セルブ 1 名・やまはな 1 名) ・主任職に対し、仕事内容の見直し、移譲、意見交換等を実施し、次世代を担う職員としての意識の醸成に努めている	・福祉職員 3 名採用予定 職業指導員 2 名 (セルブ・やまはな各 1 名) 施設外就労職員 1 名 ・定年退職職員の欠員補充と次世代を担う幹部候補生育成の為、新卒 1 名採用
職員等の処遇改善に係る検討・見直し	職員等の「動機づけ」や「やる気」を向上させるための処遇改善や規定等の検討・見直しを進める		
指定休一斉消化の実施 ・工場と事務営業関係双方での具体的協議を図る ・特に各工場の作業効率・設備・滞貨場所の有無など細部に渡り検討する(部内検討協議・試験的实施) 【クリーナース】 【おおぞら】	・すでに年度計画に基づき一斉休日数回実施済み ・新年度指定休日数大幅増に向け生産体制整備準備中 【おおぞら】	・年度計画に基づき、毎月 2 回のペースで一斉休日実施 【おおぞら】	
給与規程及び人事考課の見直し ・現在の給与規程及び人事考課制度の現状認識を行い、問題点等を洗い出し給与規程及び人事考課制度の見直しを図り、状況に応じて平成 2 5 年度以降に改定する 【総務課】	・関係機関主催の「人事管理講座」等に関係者が出席し、評価制度・給与制度の構築に向けた具体的な基礎資料を参考に、給与規程及び人事考課制度のたたき台となる仕組みの検討を進めた	・人事考課に基づく実力昇給を可能にする仕組みの検討・協議を行い、基本となる仕組みの構築を行った。今後、中期的な事業状況や人員配置等を考慮した人件費のシミュレーションを行い導入に向けた検討を進める	

計 画 内 容	平成 2 5 年度実施報告	平成 2 6 年度実施報告	平成 2 7 年度
4.新会計基準への取組み			
社会福祉法人新会計基準の制定に伴う業務体制の整備	社会福祉法人の新会計基準制定に伴い、新会計基準に基づく会計実務等に係る知識・技術の修得と、各部門における業務体制の整備を進め、平成26年4月から新会計事務を開始する		
社会福祉法人新会計基準に伴い会計業務体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・新会計基準移行に向けた準備作業 ・各事業所の会計事務分担制の確立と指導 ・経理規程等の改定(11月より前) ・平成26年度予算編成は新会計基準に基づき策定(12月) 【経理課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の会計システムと併せて、4月より新会計システムの併行稼働を行い、各事業所の会計事務分担制に向けて新会計基準の説明会等を行った 【経理課】 ・施設内で会計担当職員を決め知識・技術習得のため内外研修に参加し新会計基準の中で必要な財務諸表を現在のものとの対比しながら対応した 【クリーナース】 	<ul style="list-style-type: none"> ・新会計基準に移行(4月) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・新基準に対応した部内業務準備(売上・仕入・費用等の区分・仕分など) ・新会計に基づく平成26年度当初予算の編成 【各事業所】 	<ul style="list-style-type: none"> ・移行に伴う研修会等に担当者を参加させた【おおぞら】 ・4月から施設内に会計担当者を1名配置し、新会計基準への移行に向けた準備を実施 ・新会計基準に関する外部研修会へ参加、内部勉強会等を通じて、制度内容の把握に努めた ・新会計基準に基づく平成26年度予算の策定 ・新会計基準に関する外部研修会への参加、内部勉強会等を通じて、制度内容の把握に努めた【エイト】 ・法人経理課主催による施設毎の新会計基準勉強会及び外部研修に参加するなどして知識等の習得に努め、新会計基準移行に備えた 【ワーク】 ・新会計基準に関する研修会に積極的に参加し、新会計基準の理解を深めた 【セルフ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から施設内に会計担当者を1名配置 【エイト】 ・新会計基準に関する研修会に積極的に参加し、新会計基準の理解を深めた 【ワーク】 	
5.法人運営の取組み			
売店事業の移管運営 <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ労働組合より売店事業の移管を受け、福利厚生を目的としてクリーナース恒心寮にも出店し施設利用者の就労訓練等に活用できるよう運営を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月20日に売店事業を開始した。現行は、パート職員を配置しているが、利用者の就労訓練等の作業場所として運営の可能性を継続検討する 【クリーナース】 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイト施設棟の売店運営について、エイト部門へ移行。利用者の利便と福利厚生に供するよう適正な事業運営に努めた 【エイト】 	
全事業所の情報共有化に向けたネットワークインフラの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・全事業所との情報共有化等に向けた、共有する情報の検討・整理とネットワークインフラの検討・整備 【総務課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所を繋ぐネットワークインフラについては、導入費用やランニングコストを考慮し、使いやすい通信回線の検討を進め「ひかり回線」を導入した 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>全社LANの構築・実施に向けて共有する情報ならびに導入費用等の調査・検討を進め、平成27年度実施に向けた準備を行った</u> 【総務課】 	
リハビリ附属診療所のあり方について 【法人本部】	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年3月31日をもって診療科目の整形外科を廃止 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>内科については受診患者の状況等を把握し、今後についての検討を進めた</u> 	【法人本部】
50周年記念事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・50周年記念誌の発行 ・50周年記念式典、記念講演、祝賀会の開催 ・50周年記念旅行の検討実施 【法人本部】 	<ul style="list-style-type: none"> ・50周年記念誌を発行した ・50周年記念式典、記念講演、祝賀会を11月16日に開催 場 所：北広島クラッセホテル 記念式典：功労者表彰、協力企業等表彰 記念講演：「命のメッセージ」小菅正夫 前旭山動物園園長 記念祝賀会：祝辞、祝杯、アトラクション等 ・9月26日より50周年記念旅行を6班に分けて実施 旅行場所：東京ディズニーリゾート、大江戸博物館他 453名参加 		

3. 理事会・評議員会審議内容等

開催日	審議内容等
4月25日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：センチュリーロイヤルホテル（出席理事数 9名）</p> <p>報告事項 平成26年2月～3月事業実績及び資金繰りについて 運営状況について（平成26年3月～4月） 施設設備整備実施について</p> <p>協議事項 平成25年度事業報告（案）について 平成25年度決算（案）について</p>
5月30日	<p>【第1回評議員会】</p> <p>会場：社会福祉法人北海道リハビリリー法人本部（出席評議員数 14名）</p> <p>協議事項 平成25年度事業報告（案）について 平成25年度決算（案）について（監事監査報告）</p> <p>その他 特定相談支援事業所について</p>
	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：社会福祉法人北海道リハビリリー法人本部（出席理事数 9名）</p> <p>報告事項 事業実績及び資金繰りについて（4月） 運営状況について（5月） 札幌東労働基準監督署の立入調査に伴う是正勧告等について</p> <p>協議事項 平成25年度事業報告（案）の承認について 平成25年度決算（案）の承認について（監事監査報告） 平成25年度資産変更登記について 平成26年度労働組合の要求に対する回答について 夏季賞与について 施設利用者の精勤手当等について 施設設備整備について</p>

開催日	審 議 内 容 等
8月27日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：ホテルノースシティ （出席理事数 9名）</p> <p>報告事項 平成26年5月～7月事業実績及び資金繰りについて 運営状況について（平成26年6月～8月） 施設設備整備実施について</p> <p>協議事項 リハビリー・クリーナース老朽改築について リハビリー・クリーナース老朽改築の設計業務委託について 特定相談支援事業所の開設について 就業規則の改正について 建設委員会の権限について 施設設備整備について</p>
11月26日	<p>【第2回評議員会】</p> <p>会場：ホテルさっぽろ芸文館 （出席理事数 16名）</p> <p>報告事項 平成26年度上半期事業報告について 平成26年度上半期監事監査報告</p> <p>協議事項 平成26年度補正予算（案）について 定款変更について</p> <p>【定例理事会】</p> <p>会場：ホテルさっぽろ芸文館 （出席理事数 9名）</p> <p>報告事項 事業実績及び資金繰りについて（平成26年8月～10月） 運営状況について（平成26年8月～11月） 平成26年度上半期事業状況について 平成26年度上半期監事監査報告 施設設備整備実施結果について</p> <p>協議事項 平成26年度補正予算（案）について 定款変更について 指定特定相談支援事業所ポプルの管理者の任免について 指定特定相談支援事業所ポプルの運営規程の制定について 年末賞与について 施設利用者の精勤手当等について</p>

開催日	審 議 内 容 等
2月25日	<p>【第2回評議員会】 会場：センチュリーロイヤルホテル（出席理事数 17名） 協議事項 平成26年度決算見込みについて 平成27年度事業計画（案）及び平成27年度予算（案）について 理事及び評議員の退任と欠員補充について</p> <p>【定例理事会】 会場：センチュリーロイヤルホテル（出席理事数 9名） 報告事項 事業実績及び資金繰りについて（平成26年11月～平成27年1月） 運営状況について（平成26年11月～平成27年2月） 平成26年度北海道及び札幌市の指導監査結果について 平成27年度業務執行体制変更に伴う関係規程の改定について 施設設備整備実施結果について 協議事項 平成26年度決算見込みについて 平成27年度事業計画（案）及び平成27年度予算（案）について 理事及び評議員の退任と欠員補充について グループホームの増設について 当座貸（借）越契約並びに所内預金の保全について 施設設備整備について</p>

4. 職員研修等実施状況

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
4月11日	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリー・おおぞら)	施設内	21名
21日 ~22日	全国自立援助ホーム長研修会 全国自立援助ホーム協議会	東京都	荒木
22日 ~24日	職場研修担当者(OJT担当者)養成研修 北海道社会福祉協議会	札幌市	小野
24日	福祉事業職員研修 北海道リハビリ(リハビリー・エイト)	施設内	16名
5月10日 ~15日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	石川(晃)
12日	福祉事業職員研修会 北海道リハビリ(北広島施設)	施設内	69名
"	障害支援区分認定調査員研修会 北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課 地域づくり推進グループ	札幌市	佐藤(貴)
13日 ~14日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(初任者コース) 北海道社会福祉協議会	"	中田(光)、黒田
15日	福祉事業職員研修会 北海道リハビリ(北広島施設)	施設内	72名
17日	実践報告会(札幌のすてきな実践者たち) 札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる	札幌市	道下、津田、知覧 遠藤(美)、袴田
23日	知的障がいの者の老齢期の課題 自閉症を学ぶ会、自閉症援助技術研究会	"	尾野、服部
24日	世話人勉強会(知的障がいの者の老齢期の課題) 北海道リハビリ(地域福祉推進室)	施設内	堀(美)、山本(二)、菅原(和) 吉井、高橋(雄)、大原
29日	福祉事業職員研修 北海道リハビリ(リハビリー・エイト)	"	13名

4月11日 遠藤(美)、小野、尾野、加々見、加藤(裕)、窪田(悦)、新出、須山、高松、田村、知覧、津田、中川(晴)、中田(光)、福祉事業職員自主研修会 萩原、橋本、細川(英)、道下(健)、山田、山本(哲)、渡辺(芳)

4月24日・5月29日 福祉事業職員研修

4/24: 池野、伊藤(智)、上田、奥田(雅)、片岡、川上、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、杉田、高松、谷口、仲野、平山、松本(恭)、吉本

5/29: 伊藤(智)、奥田(雅)、片岡、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、杉田、高松、谷口、平山、松本(恭)、森田、吉本

5月12日・5月15日 福祉事業職員自主研修会

5/12: 天野、新谷、安藤(恵)、五十嵐、伊藤(友)、稲垣、岩泉、上田、内潟、遠藤(美)、太田(恭)、大瀧、大原、小笠原、片倉、加藤(裕)、神谷、川上、川端、北川、桐生、窪田(剛)、光銭、酒井(智)、佐藤(美)、真田、島崎、東海林、新出、菅原(和)、杉田、鈴木(辰)、須山、曾我部、高松、竹内(孝)、武田、立崎(早)、谷口、田畑(義)、知覧、寺岡、堂前、中川(久)、中川(夕)、中村(友)、布村、袴田、萩原、浜崎、浜根、平山、廣瀬、福田(一)、古崎、前田、松崎、松原、松本(榮)、三浦(久)、道下(健)、宮川、森田(好)、森田(修)、山田、吉ヶ谷、吉崎渡辺(信)、渡辺(芳)

5/15: 秋元、阿部(仁)、阿部(泰)、伊賀、生島、池田、池野、石黒、伊藤(圭)、伊藤(智)、伊藤(大)、伊藤(学)、稲垣上、及川(勝)、小田、尾野、小野、加々見、柿崎、梶川、柏田、片岡、金沢、金山、鎌田、川村、菊地(眞)工藤(綾)、窪田(悦)、今野、佐伯、齋藤(岳)、作佐部、佐々木(正)、菅原(敦)、菅原(靖)、鈴木(博)、須藤、高松、橋、田代、田中、田村、津田、寺山、得地、中川(晴)、中島、中田(玲)、中田(光)、仲野、野宮、萩原、橋本、服部、廣川、廣田、藤本、古川(志)、細川(英)、堀(美)、松田、松本(榮)、道下(健)、山崎(正)、山下、山邊、山本(哲)、吉井、渡辺(芳)、渡邊(由)

(五十音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
6月4日・5日	福祉サービス利用手続き及びマナー内部研修会 北海道リハビリ(リハビリ・クリーナーズ)	施設内	4日：9名 5日：14名
4日 ～5日	相談支援従事者研修(基礎研修)前期 北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課 地域づくり推進グループ	札幌市	佐々木(繁)、高山
7日	各地域の発達障害者支援センターの取り組みから学ぶ・みんながしあわせになるためにセンターができること・ 札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる	"	遠藤(美)
"	精神科医療機関から発信する就労支援セミナー 北海道精神保健福祉協会	"	高山
10日	防災研修会(消火訓練) 北広島市危険物安全協会	北広島市	菅原(宗)、竹内(孝)
11日	新任職員研修 北海道リハビリ	施設内	15名
11日 ・12日	福祉サービス利用手続き及びマナー内部研修会 北海道リハビリ(リハビリ・クリーナーズ)	"	11日：7名 12日：13名
12日 ～13日	甲種防火管理者講習 北海道消防設備協会	江別市	菅原(宗)、荒木
17日	社会就労センター施設長・職員研修会 北海道社会就労センター協議会	札幌市	13名
18日 ～20日	相談支援従事者研修(基礎研修)後期 北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課 地域づくり推進グループ	"	佐々木(繁)、高山
19日 ・20日	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	施設内	19日：15名 20日：9名
26日	MJS 給与システム標準報酬算定研修会 ミロク情報サービス 札幌支社	札幌市	佐藤(悠)
26日	福祉事業職員研修 北海道リハビリ(リハビリ・エイト)	施設内	12名
26日 ～27日	職長・安全衛生責任者教育講習会 中央労働災害防止協会・北海道安全衛生サービスセンター	札幌市	山崎(正)
27日	就労移行支援事業所就労支援員向け研修 全国就労移行支援事業所連絡協議会	"	鳥居、花岡

6月4日・5日 福祉サービス利用手続き及びマナー内部研修会

4日：石川(晃)、是石、佐伯(肇)、竹内(孝)、得地、中島、松本(榮)、宮本、渡辺(信)

5日：秋元、阿部(泰)、新谷、石山、伊藤(圭)、稲垣、岩崎、金山、佐々木(正)、東海林、曾我部、立崎(早)中川(夕)、廣川

6月11日

新任職員研修

秋山(亜)、秋山(里)、在原、生島、伊藤(友)、太田(恭)、岡本、柏田、金野、黒森、小峯、瀬戸、藤井、松本(真)、山田

6月11日・12日

福祉サービス利用手続き及びマナー内部研修会

11日：安藤(恵)、島崎、中川(久)、松田、山崎(正)、山下、渡邊(由)

12日：伊賀、池田、石黒、内潟、川村、工藤(彩)、窪田(剛)、寺山、野宮、浜根、藤本、古川(志)、森田(好)

6月17日

社会就労センター施設長・職員研修会

市川、伊藤(智)、岡本、加々見、梶川、佐藤(貴)、菅原(宗)、知覧、鳥居、中井、福田(一)、藤原(雅)、道下(健)

6月19日・20日 福祉事業職員自主研修会

19日：遠藤(美)、小野、加藤(裕)、窪田(悦)、須山、田村、知覧、津田、中川(晴)、中田(光)、萩原、細川(英)、道下(健)、山田、渡辺(芳)

20日：大山(道)、尾野、加々見、新出、萩原、橋本、道下(健)、山本(哲)、渡辺(芳)

6月26日

福祉事業職員研修

伊藤(智)、上田、奥田(雅)、片岡、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、高松、仲野、浜崎、松本、森田

(五十音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
7月 2日	社会福祉法人経営者セミナー 北海道社会福祉協議会、北海道社会福祉法人経営者協議会	札幌市	五十嵐
7日	学校視察(豊明高等養護、小樽高等支援、稲穂高等支援、白樺高等養護) 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	札幌・小樽 北広島	道下(健)、新出、知覧 尾野、橘
9日	学校視察(豊明高等養護、小樽高等支援、稲穂高等支援、白樺高等養護) 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	札幌・小樽 北広島	道下(健)、小野、津田 加々見、遠藤(美)
"	世話人勉強会(熱中症について) 北海道リハビリ(エルフィンホーム)	施設内	神谷、西、山本(二) 工藤(朱)、宮川、柿崎
9日 ~ 11日	全国社会就労センター総合研究大会(新潟大会) 全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会	新潟県	菅原(宗)、北川
10日	第一種電気工事士定期講習 電気工事技術講習センター	札幌市	寺田
10日 ~ 11日	職長・安全衛生責任者教育講習会 中央労働災害防止協会 北海道安全衛生サービスセンター	"	津田、知覧
14日	女性スタッフ研修会 全国自立援助ホーム協議会	"	阿部(み)、古崎
"	世話人虐待防止勉強会 北海道リハビリ(エルフィンホーム)	施設内	堀(美)、柿崎、工藤(朱) 田中、高橋(雄)、大原
15日	施設運営専門講座(中堅職員・チームリーダーのためのリーダーシップカアップ講座) 北海道社会福祉協議会 社会福祉施設部会	札幌市	加々見
16日	福祉事業職員自主研修会(白樺高等養護学校 視察) 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	北広島市	11名
17日	世話人虐待防止勉強会 北海道リハビリ(エルフィンホーム)	施設内	西、山本(二)、吉井 菅原(和)、柿崎、宮川
18日	C S P(コモンセンス・ペアレンティング)勉強会 北海道立向陽学院	北広島市	阿部(み)
23日	障がい者就労支援情報交換会×e-ふらっとと学ぼう 石狩障がい者就業・生活支援センター のいける	恵庭市	伊藤(智)、平山
"	クレーム対応から顧客獲得講座(お客様の怒りを笑顔に変える!) 札幌五法人会	札幌市	住谷
"	ニューパワー全体セミナー 札幌市社会福祉協議会 施設福祉部会	"	道下(真)、金野
24日	生活困窮者自立支援制度研修会 北海道総合研究調査会	"	藤原(雅)、伊藤(義)
25日	ハード・ネットワーク研修会 ミロク情報サービス 札幌支社	"	旭
25日	福祉事業職員研修 北海道リハビリ(リハビリ・エイト)	施設内	10名

7月16日
福祉事業職員自主研修会 大山(道)、加藤(裕)、窪田(悦)、須山、田村、中川(晴)、中田(光)、橋本、細川(英)、山田、山本(哲)

7月25日・8月21日 福祉事業職員研修
7/25: 伊藤(智)、奥田(雅)、片岡、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、浜崎、平山、前田、森田、
8/21: 伊藤(智)、上、奥田(雅)、片岡、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、平山、前田、松本、森田

(五十音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
7月28日	社会福社会計簿記「入門講座」 総合福祉研究会	札幌市	小峯、道下(真)
8月 2日	精神科医療機関から発信する就労支援セミナー 北海道精神保健福祉士協会	〃	高山
2日 ~7日	J C - N E T ジョブコーチ養成研修 in 札幌 特定非営利活動法人ジョブコーチ・ネットワーク	〃	津田
7日	施設運営専門講座(中堅職員・チームリーダーのためのリーダーシップカアップ講座) 北海道社会福祉協議会 社会福祉施設部会	〃	新出、花岡
〃	安全運転管理者講習 北海道公安委員会	〃	藤原(雅)
8日	移行のための新会計基準セミナー T K C 全国会 社会福祉法人経営研究会	〃	旭
11日	C S P 勉強会 北海道リハビリ(地域福祉推進室)	施設内	阿部(み)、近江、大西 高橋(優)、佐藤(正)
20日	障害者総合支援法に係る主治医研修 北海道	札幌市	吉ヶ谷
〃	職員研修会 札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会	〃	藤原(雅)、中川(里)、市川 鳥居、鈴木(京)、生出
20日 ・21日	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	施設内	20日：14名 21日：10名
21日	福祉事業職員研修 北海道リハビリ(リハビリ・エイト)	〃	11名
21日 ~22日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(中堅職員コース) 北海道社会福祉協議会	札幌市	津田
23日	室蘭地域ハウスキーパー研修会 北海道リハビリ(クリーニング事業部)	室蘭市	24名
25日	食品販売等に携わる福祉従事者のための食品表示に関する研修 北海道社会就労センター協議会	札幌市	梶川、稲垣、藤原(雅)
25日 ~26日	新任施設相談員研修 北海道社会福祉協議会	〃	中田(光)、須山、松本(真)
28日	クライアントの視点から見た提案営業のポイント ハイデルベルグ・ジャパン(株)	札幌市	福田(一)
29日	生活困窮者自立支援制度に係る説明会 北広島市保健福祉部福祉課	北広島市	福田(一)、吉ヶ谷 佐藤(貴)、稲垣
30日	虐待防止研修会 北海道社会福祉士会	札幌市	大山(毅)
9月 3日 ~4日	メンタルヘルス研修 北海道社会福祉協議会	〃	小野(智)、新出、中井 清水

8月20日・21日 福祉事業職員自主研修会

8/20：遠藤(美)、大山(道)、加々見、加藤(裕)、窪田(悦)、田村、津田、中川(晴)、中田(光)、萩原、細川(英)、道下(健)、山本(哲)、渡辺(芳)

8/21：小野、尾野、新出、須山、知覧、萩原、橋本、道下(健)、山田、渡辺(芳)

8月23日 阿部(仁)、猪俣、伊藤(涼)、伊藤(和)、伊藤(学)、岡田(牧)、菊地(里)、北村、後藤(静)、斉藤(岳)、佐藤(美)、
室蘭地域ハウスキーパー研修会 新出、菅原(由)、菅原(靖)、中野、長縄、中村(由)、原(美)、播磨、堀崎、松原、三浦(忍)、道下(健)、村本
(五十音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
9月 4日	安全運転管理者講習 北海道公安委員会	北広島市	今井、水口、住谷
"	環境・省エネセミナー なかせき商事(株)	札幌市	大黒、寺下
"	北海道情報・印刷産業展公式セミナー(望まれる印刷・関連企業になるために) 北海道情報・印刷産業展実行委員会	"	福田(一)、山本(正)、杉田 酒井(雅)
4日 ~ 5日	新任介護職員研修 北海道社会福祉協議会	"	在原
5日	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会 北海道社会福祉協議会、北海道社会福祉法人経営者協議会	"	11名
9日	職場運営管理講座 北海道社会福祉法人経営者協議会、北海道社会福祉法人経営青年会	"	大黒、鳥居
"	施設運営専門講座(中堅職員・チームリーダーのためのリーダーシップ力アップ講座) 北海道社会福祉協議会 社会福祉施設部会	"	森(洋)、高山
10日	世話人勉強会(発達障害の特性理解及び支援について) 北海道リハビリ(エルフィンホーム)	施設内	西、吉井、菅原(和)、大原 堀、柿崎
"	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	"	13名
16日	社会福祉施設管理・運営セミナー 北海道社会福祉協議会 社会福祉施設部会	札幌市	小田、道下(健)、福田(一) 渡辺(芳)、藤原(雅)、市川
17日	高次脳機能障害事例検討会 北海道大学病院	"	梶川
"	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	施設内	10名
"	苦情解決システム研修会 北海道福祉サービス運営適正化委員会	札幌市	菅原(宗)、荒木
17日 ~ 19日	第一種衛生管理者免許試験受験準備講習会 北海道労働基準協会連合会	"	加々見、知覧
18日 ~ 19日	施設長及び職員研修会 北海道身体障害者授産施設連絡協議会	夕張市	11名
18日 ~ 20日	就労支援者向け就労支援スキルアップ講座 北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課 地域づくり推進グループ	札幌市	道下(真)、花岡、堀川、 生出
21日	障がい者入所施設 災害時避難訓練 札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会	"	藤原(雅)、伊藤(義)、市川、鳥居、鈴木(京)、花岡、 道下(真)、ワーク利用者3名、セルフ利用者4名
24日	社会福祉法人人材マネジメント講座(社会福祉法人事務管理講座) 全国社会福祉法人経営者協議会	東京都	吉ヶ谷

9月5日
社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会 市川、小田、梶川、菅原(宗)、知覧、鳥居、福田(一)、藤原(雅)、道下(健)、吉ヶ谷、渡辺(芳)

9月10日・17日
福祉事業職員自主研修会 10日:遠藤(美)、大山(道)、加藤(裕)、須山、田村、知覧、津田、中川(晴)、橋本、細川(英)、道下(健)、山田、渡辺(芳)
17日:小野、尾野、加々見、窪田(悦)、新出、中田(光)、萩原、道下(健)、山本(哲)、渡辺(芳)

9月18日~19日
施設長及び職員研修会 市川、伊藤(学)、遠藤(久)、大黒、佐藤(貴)、菅原(宗)、鳥居、福田(一)、藤原(雅)、道下(健)、渡辺(芳)

(五十音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
9月25日	福祉事業職員研修 北海道リハビリ(リハビリ・エイト)	施設内	13名
25日 ~26日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(チームリーダーコース) 北海道社会福祉協議会	札幌市	及川(勝)、齊藤(す)
"	看護師専門研修 北海道社会福祉協議会	"	黒森
29日	社会福祉法人新会計基準研修会 北海道	"	渡辺(卓)、旭
"	高齢者施設の豪雨・竜巻・落雷災害対策セミナー あいおいニッセイ同和損保 北海道AD倶楽部ケアフレンズの会	"	藤井
10月1日	障がい者就労支援情報交換会 石狩障がい者就業・生活支援センター のいける	北広島市	佐藤(貴)、伊藤(智)、梶川、津田 加々見、知覧、伊藤(大)、
"	人事労務講座 北海道経営者協議会	札幌市	奥田(雅)
2日 ~3日	全国社会就労センター協議会課題別専門研修会 全国社会福祉協議会	東京都	新出
4日	ハウスキーパー研修会 北海道リハビリ(クリーニング事業部)	施設内	9名
6日 ~7日	クリーニング部会研修会 日本セルフセンター	札幌市	遠藤(久)、菅原(宗)、道下(健) 伊藤(学)、大黒、渡辺(芳)、
9日	公正採用選考人権啓発推進員研修会 札幌公共職業安定所	"	吉ヶ谷
"	精神保健家族学習会 千歳地域生活支援センター	北広島市	萩原、新出、袴田、古崎 遠藤(美)
"	みるくる2014セミナー~最新省エネ補助金情報と活用法~ 大丸藤井(株)	札幌市	福田(一)、奥田(雅)、 酒井(智)、平山(慎)
14日	障害者虐待防止法勉強会 北海道リハビリ(リハビリ・クリーナース)	施設内	金山、新谷、渡邊(由)、森田(好) 山下(幸)、岩崎(良)、稲垣
"	第1回北広島市就労情報交換会 障がい者就労支援センターめーでる	北広島市	渡辺(芳)、津田
15日	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	施設内	10名
16日	障害者虐待防止法勉強会 北海道リハビリ(リハビリ・クリーナース)	"	15名

9月25日
福祉事業職員研修 池野、伊藤(智)、伊藤(大)、上、奥田(雅)、片岡、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、中野、浜崎、森田、吉本

10月4日
ハウスキーパー研修会 阿部(仁)、伊藤(学)、小野、鎌田、斉藤(岳)、新出、菅原(靖)、松原、道下(健)、

10月15日
福祉事業職員自主研修会 遠藤(美)、小野(智)、加々見、加藤(裕)、新出、萩原、橋本(美)、細川(英)、道下(健)、渡辺(芳)

10月16日
障害者虐待防止法勉強会 秋元、阿部(泰)、石川(晃)、石黒、梶川、窪田(剛)、佐々木(正)、曾我部、寺山、中川(久)、中川(夕)、
中島、松田、宮本、山崎(正)

(五十音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
10月16日	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	施設内	13名
17日	工場見学 北海道光生舎フロンティア	札幌市	菅原(宗)、大黒、吉ヶ谷 萩原、寺下、小野(智)、新出
"	人事管理研修 北海道社会福祉法人経営者協議会	"	奥田(雅)
"	複数事業所連携事業に係る研修会 複数事業所連携事業(くりのみハイム)	"	市川、鳥居
20日 ~24日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	小野(智)
21日 ・23日	障害者虐待防止法勉強会 北海道リハビリ(リハビリ・クリーナーズ)	施設内	21日: 7名 23日: 14名
27日 ~29日	北海道サービス管理責任者研修(第4分野就労) 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	札幌市	杉田
28日	高齢者のための健康増進講演会 北広島市	北広島市	梶川、秋元
28日 ~29日	身体障害者福祉施設職員研修会 北海道身体障害者福祉施設協議会	札幌市	10名
30日	LED-UV印刷システム勉強会 北海道リハビリ(リハビリ・エイト)	施設内	14名
"	福祉事業職員研修 北海道リハビリ(リハビリ・エイト)	"	11名
"	ワタキューセイモア(株)旭川新工場 視察 日本病院寝具協会	旭川市	道下(健)、渡辺(芳)、新出
11月 1日	介護保険制度の仕組みと利用方法 ちとせ介護医療連携の会	千歳市	福田(一)
5日 ~6日	松戸工場 視察 新日本ウエックス(株)	東京都 千葉県	伊藤(学)、菅原(靖)、大黒、 渡辺(芳)
5日	中堅職員研修 北海道リハビリ	施設内	19名

10月16日 福祉事業職員自主研修会 尾野、窪田(悦)、須山、高松、田村、知覧、津田、中川(晴)、中田(光)、道下(健)、山田、山本(哲)、渡辺(芳)

10月21日・23日 障害者虐待防止法勉強会
21日:安藤(恵)、川村(恵)、是石、立崎(早)、浜根、藤本、松本(榮)
23日:伊賀、池田、石山、伊藤(圭)、内瀧、工藤(彩)、古川(志)、佐伯、島崎、東海林、竹内(孝)、得地、廣川、野宮(睦)

10月28日~29日 身体障害者福祉施設職員研修会 伊藤(学)、市川、鳥居、橋本、平沼、福田(一)、藤原(雅)、細川(英)、松本(恭)、道下(健)

10月30日 LED-UV印刷システム勉強会 伊藤(智)、奥田(雅)、川上、酒井(智)、真田、杉田、鈴木(博)、田畑(義)、布村、浜崎、平沼
福田(一)、松崎、吉崎

10月30日 福祉事業職員研修 伊藤(智)、伊藤(大)、奥田(雅)、片岡、上、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、仲野、浜崎、森田(修)

11月5日 中堅職員研修 天野、荒木、石場、市川、伊藤(学)、梅原、遠藤(久)、齊藤(岳)、新出、菅原(宗)、竹内(孝)、竹山、知覧、浜崎
福田(一)、藤原(雅)、道下(健)、森田(修)、山崎(正)

(五十音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
11月 6日	災害時避難訓練振り返り研修会 札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会	札幌市	藤原(雅)、市川、鳥居
8日	高次脳機能障害リハビリテーション講習会 北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会	"	梶川、須山、橋本
10日	児童虐待防止研修 北海道リハビリ(地域福祉推進室)	施設内	荒木、阿部(み)、近江、大西 鈴木(百)、高橋(雄)、宮川
11日 ~12日	メンタルヘルス研修 北海道社会福祉協議会	"	伊藤(麻)、工藤、斉藤(す)
"	施設相談員専門研修B(障がい) 北海道社会福祉協議会	"	尾野、須山、袴田、天野、 藤田(淳)
12日	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	"	12名
13日	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	"	9名
17日	障害者総合支援法並びに児童福祉法に基づく集団指導 北海道石狩振興局保健環境部社会福祉課	札幌市	9名
18日	消費税転嫁対策講習会 北広島商工会	北広島市	福田(-)
19日	児童虐待防止講演会 北海道中央児童相談所	江別市	荒木
"	世話人勉強会(インフルエンザについて) 北海道リハビリ(地域福祉推進室)	施設内	服部、古崎、西、吉井、田中 高橋(優)、近江、山本(二)
19日 ~20日	栄養士専門研修(成人) 北海道社会福祉協議会	札幌市	小峯
20日	年末調整等説明会 札幌南税務署	北広島市	佐藤(悠)
"	発達障がい者の就労支援勉強会 札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる	札幌市	堀川、道下(真)
20日 ~21日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(管理職コース) 北海道社会福祉協議会	"	佐藤(貴)、中井
21日	新社会福祉法人会計基準等に係る研修会 札幌市保健福祉局	"	旭
26日	社会福祉法人・社会福祉施設経理取扱実務研修会 北海道社会福祉協議会	"	伊藤(友)
"	高次脳機能障害セミナー 北海道石狩振興局保健環境部	千歳市	服部、津田、知覧、尾野 遠藤(美)、中川、山田(真)

11月12日
福祉事業職員自主研修会 遠藤(美)、小野(智)、加々見、田村、知覧、津田、中田(光)、橋本、道下(健)、山田、山本(哲)、渡辺(芳)

11月13日
福祉事業職員自主研修会 加藤(裕)、窪田(悦)、新出、須山、高松、中川(晴)、細川(英)、道下(健)、渡辺(芳)、

11月17日
障害者総合支援法並びに児童福祉法に基づく集団指導 大黒、奥田(雅)、尾野、梶川、佐藤(貴)、竹内(孝)、服部、福田(-)
道下(健)

(五十音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
11月27日	まちづくりに関する説明会および意見交換会 北広島市商工会	北広島市	吉ヶ谷
28日	下請取引適正化推進講習会 経済産業省北海道経済産業局	札幌市	今井、渡辺(瑞)
"	生活困窮者自立支援フォーラム 特定非営利活動法人北海道ソーシャルワーカー協会	"	渡辺(芳)、萩原
29日	重症心身障害看護師教育課程プログラム-障害者虐待防止と障害者の権利 北海道石狩振興局	"	福田(一)
"	福祉事業職員研修 北海道リハビリ(リハビリ・エイト)	施設内	12名
12月1日 ~2日	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課	札幌市	福田(一)、藤原(雅)
3日	元気スキルアップセミナー 札幌市障がい者元気スキルアップ事業事務局	"	花岡、道下(真)、金野
"	防災教室 北海道リハビリ(エルフィンホーム)	施設内	22名
"	障がい特性等に関する勉強会 北海道リハビリ(リハビリ・エイト)	"	22名
4日 ~5日	介護職員専門研修 北海道社会福祉協議会	札幌市	吉永
10日	複数事業所連携事業に係る研修会 複数事業所連携事業(セルフさっぽろ)	施設内	9名
10日 ・11日	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	"	10日:13名 11日:10名
11日	LED・UV印刷システム導入企業見学会 北海道リハビリ(リハビリ・エイト)	"	8名
11日	障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく集団指導 札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課	札幌市	藤原(雅)、市川、伊藤(義)、 鳥居
11日 ~15日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	松本(恭)

11月29日
福祉事業職員研修 上田、奥田(雅)、片岡、川上、河端、佐藤(貴)、高松、谷口、平山(慎)、松本(恭)、森田(修)、吉本

12月3日
防災教室 阿部、荒木、荒谷、石井、石井、市田、尾田、菊池、小谷、柴田、菅井、中川、荻原、服部、藤島、古崎、堀越、松尾、松岡
松田、横井、吉井、

12月3日
障がい特性等に関する勉強会 上田、池野、伊藤(智)、奥田(雅)、片岡、上、川上、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、杉田、高松、谷口
仲野、布村、浜崎、平山(慎)、福田(一)、前田、松崎、森田、吉本

12月10日
複数事業所連携事業に係る研修会 市川、斉藤(す)、鈴木(京)、鳥居、中井、花岡、藤原(雅)、堀川、道下(健)

12月10日・11日
福祉事業職員自主研修会 10日:尾野、小野(智)、加々見、新出、高松、田村、中田(光)、萩原、橋本、道下(健)、山本(哲)、山田(真)、渡辺(芳)
11日:遠藤(美)、加藤(裕)、窪田(悦)、須山、知覧、津田、中川(晴)、細川(英)、道下(健)、渡辺(芳)

12月11日
LED・UV印刷システム導入企業見学会 奥田(雅)、酒井(智)、杉田、田畑(義)、布村、福田(一)、松崎、吉崎

(五十音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
12月12日	障がい特性等に関する勉強会 北海道リハビリー(リハビリー・エイト)	施設内	21名
16日 ~17日	法人役員・施設長専門研修(社会福祉施設) 北海道社会福祉協議会	札幌市	平沼、小田
17日	障がい者就労支援情報交換会 石狩障がい者就業・生活支援センター のいける	江別市	萩原、津田、遠藤(美)
19日 ~23日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	尾野
25日	福祉事業職員研修 北海道リハビリー(リハビリー・エイト)	施設内	15名
1月13日	安心・安全な製品づくりへのスキルアップ研修 北海道社会就労センター協議会	札幌市	藤原(雅)
14日	生活習慣病予防に関する保健指導研修会 北海道石狩振興局保健環境部	千歳市	館山
14日 ~16日	衛生管理者免許試験受験準備講習会 北海道労働基準協会連合会	札幌市	須山
15日 ~16日	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修(虐待防止責任者養成研修) 北海道、札幌市	"	道下(健)
20日 ~22日	北海道サービス管理責任者研修(第4分野就労) 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	"	中井
21日 ・22日	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリー(リハビリー・おおぞら)	施設内	21日：12名 22日：12名
23日	福祉事業職員研修 北海道リハビリー(リハビリー・エイト)	"	15名
24日 ~28日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	山崎(正)
27日	身体障害者福祉施設研究セミナー 北海道身体障害者福祉施設協議会	札幌市	11名
"	安全衛生パトロールセミナー 中央労働災害防止協会	札幌市	梶川
28日	就業リハビリテーション推進フォーラム 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	"	津田、遠藤(美)
29日	社会福祉法人経営実務セミナー 北海道社会福祉協議会	"	五十嵐(勤)、平沼、小田

12月12日 池野、伊藤(智)、上田、片岡、上、川上、河端、福田(一)、奥田(雅)、酒井(智)、佐藤(貴)、杉田
障がい特性等に関する勉強会 高松、谷口、仲野、布村、浜崎、平山(慎)、前田、松崎、森田

12月25日 池野、上田、奥田(雅)、片岡、上、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、杉田、高松、谷口、布村、平山(慎)、森田、吉本
福祉事業職員研修

1月21日・22日 21日：小野(智)、尾野、加々見、加藤(裕)、新出、須山、知覧、萩原、道下(健)、山田(真)、山本(哲)、渡辺(芳)
福祉事業職員自主研修会 22日：遠藤(美)、窪田(悦)、高松、田村、津田、中川(晴)、中田、萩原、橋本、細川(英)、道下(健)、渡辺(芳)

1月23日 池野、上田、奥田(雅)、片岡、上、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、杉田、高松、布村、平山(慎)、前田、森田、吉本
福祉事業職員研修

1月27日 大黒、市川、伊藤(学)、上、菅原(宗)、鳥居、福田(一)、藤原(雅)、道下(健)、森田(修)、渡辺(芳)
身体障害者福祉施設研究セミナー

(五十音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
1月30日	障がい者就労支援情報交換会 石狩障がい者就業・生活支援センターのいける	江別市	萩原、遠藤(美)
2月 3日	発達と支援の講演会 北広島市自立支援協議会	北広島市	14名
4日	複数事業所連携事業に係る研修会 複数事業所連携事業(あゆ夢)	札幌市	市川、鳥居、水野
7日	精神科医療機関から発信する就労支援セミナー デイケアクリニックほっとステーション	"	萩原、新出
9日 ~10日	第32期経営者・役員講座 全国社会福祉法人経営者協議会	東京都	五十嵐、平沼
10日	化学物質による健康障害防止対策説明会 札幌中央労働基準監督署	札幌市	松崎、石川(晃)
11日 ・12日	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	施設内	11日: 12名 12日: 10名
"	北広島市就労情報交換会 障がい者就労支援センターめーでる	北広島市	津田、遠藤(美)
13日	高次脳機能障害事例検討会 北海道大学病院リハビリテーション部	札幌市	梶川
16日	きむらクリーニング(株) 視察 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	新ひだか町	道下(健)、渡辺(芳)
16日 ~17日	北海道強度行動障害支援者養成研修(基礎研修) 北海道	札幌市	稲垣
17日	改正パートタイム労働法・改正次世代法説明会 北海道労働局	"	吉ヶ谷
18日	IT資産管理から始める情報セキュリティ対策体験セミナー SKY(株)	"	石橋、柏田
19日	障害福祉事業経営セミナー 全国社会福祉法人経営者協議会	東京都	遠藤(久)
23日 ~24日	障害福祉サービス等初任者研修(モデル研修) 北海道	札幌市	小野(智)、新出、山崎(正)、 尾野、中川(晴)
25日	障がい者雇用促進セミナー 北広島市障がい者自立支援協議会	北広島市	8名
26日 ~27日	リネンサプライ業技能実習講習会(中級) 日本テキスタイルサプライ協議会	東京都	新出、加々見
27日	ダイアパー技術研修会 日本ダイアパー事業振興会	"	小野(智)

2月3日 阿部(み)、石川(晃)、伊藤(智)、遠藤(美)、梶川、片岡、知覧、中田、萩原、橋本、福田(一)、古崎、道下(健)
発達と支援の講演会 吉ヶ谷

2月11日・12日 11日:遠藤(美)、小野(智)、加々見、加藤(裕)、窪田(悦)、田村、津田、萩原、細川(英)、道下(健)、山田(真)、渡辺(芳)
福祉事業職員自主研修会 12日: 尾野、新出、須山、高松、知覧、中川(晴)、萩原、橋本、道下(健)、渡辺(芳)

2月25日 伊藤(智)、伊藤(大)、津田、萩原、福田(一)、道下(健)、吉ヶ谷、渡辺(芳)、
障がい者雇用促進セミナー

(五十音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
2月28日	福祉事業職員研修 北海道リハビリ(リハビリ・エイト)	施設内	14名
3月2日	特定給食施設等研修会 札幌市保健福祉局	札幌市	小峯
4日	共催研修会 札幌市自立支援協議会清田区地域部会・清田区障がい福祉関係者ネットワーク会議	"	大山(毅)、森(洋)、 横山(美)
10日	障がい者就労支援フォーラム 石狩障がい者就業・生活支援センターのいける	"	津田、知覧
10日 ~11日	社会就労センター施設長・職員研修会/事業所経営セミナー 北海道社会就労センター協議会	"	11名
12日	北海道社会福祉法人経営青年会経営管理講座 北海道社会福祉法人経営者協議会	"	大黒
12日 ・13日	福祉事業職員自主研修会 北海道リハビリ(リハビリ・おおぞら)	施設内	12日: 11名 13日: 9名
13日	障害者雇用納付金制度事務説明会 北海道高齢・障害者雇用支援センター	札幌市	竹本
15日 ~19日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	生出
3月19日	北広島市地域たすけあい会議全体会 北広島市保健福祉部高齢者支援課	北広島市	服部
20日	障がい者雇用フォーラム 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課	札幌市	高山、津田
20日 ~24日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	横山
25日	福祉事業職員研修 北海道リハビリ(リハビリ・エイト)	施設内	14名
"	医療セミナー スマイル健康クリニック	札幌市	竹本
合 計			延べ1228名

- 2月28日
福祉事業職員研修 池野、上田、奥田(雅)、上、片岡、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、杉田、高松、布村、平山(慎)、前田、森田(修)
- 3月10日~11日 第2回社会就労センター施設長・職員研修会/事業所経営セミナー
伊藤(義)、市川、小田、菅原(宗)、鳥居、花岡、平沼、福田(一)、藤原(雅)、道下(健)、渡辺(芳)
- 3月12日・13日 12日:遠藤(美)、小野(智)、加々見、加藤(裕)、窪田(悦)、田村、知覧、津田、道下(健)、山田(真)、渡辺(芳)
福祉事業職員自主研修会 13日:尾野、須山、新出、中川(晴)、萩原、橋本、細川(英)、道下(健)、渡辺(芳)
- 3月25日
福祉事業職員研修 池野、上田、奥田(雅)、片岡、上、河端、酒井(智)、佐藤(貴)、杉田、高松、布村、平山(慎)、松本、森田(修)

(五十音順)

5. 行事・事業等実施状況

開催日	行事・事業内容	
4月 2日	税務調査(澁谷税理士)	
15日	監事監査(田中監事)	
19日	利用者社会見学会(白い恋人パーク)	セルフ
"	ヨガ教室	ワーク
25日	就労移行支援プログラム(SST)	セルフ
"	北海道高等盲学校「学級進路講演会」	クリーナース
26日	調理実習	ワーク
5月 2日	北海道立向陽学院「職員交流会」	陽だまり
8日	煤払い大掃除(第1工場)	クリーナース
"	利用者対象マナー研修会(A・B型利用者16名)	クリーナース
13日	利用者社会見学会(ほくでんアソシエ)	エイト
15日	クリーンデー(施設構内整備運動)	クリーナース、おおぞら、クリーニング事業部
"	クリーンデー(施設構内整備運動)	セルフ
17日	利用者社会見学会(恵庭市道の駅、桜公園)	ワーク
18日	春の一斉清掃(西の里広栄町内会主催)	エルフィン
19日	クリーンデー(施設構内整備運動)	エイト・印刷事業部・法人本部
"	監事監査(田中監事、山崎監事)	
24日	調理実習	ワーク
"	利用者社会見学会(千歳市防災学習交流センター「そなえ～る」)	セルフ
29日	就労移行支援プログラム(SST)	セルフ
31日	温泉風入浴会及び食事会	ワーク
6月 7日	利用者社会見学会(札幌芸術の森美術館)	ワーク
14日	焼肉会	ワーク
19日	総合防災訓練	ワーク
21日	利用者社会見学会(サッポロビール博物館)	セルフ
25日	就労移行支援プログラム(SST)	セルフ
28日	調理実習	ワーク
29日	西の里町内会「焼肉親睦会」(西の里さくら公園)	エルフィン
30日	献血(北海道赤十字血液センター)	北広島施設・法人本部
7月 3日	自動車安全運転センター表彰状贈呈	セルフ
4日	平成25年度 合同打ち上げ	エイト・印刷事業部・法人本部
5日	平成25年度 合同打ち上げ	クリーナース、おおぞら、地域福祉推進室、クリーニング事業部
"	温泉風入浴会及び食事会	ワーク

開催日	行事・事業内容	
7月 8日	消防設備等立ち入り検査(北広島市消防署)	北広島全施設
19日	焼肉会	セルブ(自治会)
"	第1回「歩こう会」(エルフィンロード)	陽だまり
21日	手話講習会(利用者8名)	クリーナース
23日	利用者社会見学会(百合が原公園)	ワーク
26日	調理実習	ワーク
27日	利用者社会見学会(あそびーち石狩)	陽だまり
29日	就労移行支援プログラム(SST)	セルブ
8月 4日	インターンシップ受入(千歳科学技術大学)	エイト
~8日		
5日	送別会(退所児童)	陽だまり
9日	利用者社会見学会(近代美術館)	ワーク
21日	札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会避難訓練	セルブ
22日	総合防災訓練(地震・火災想定)	エイト
23日	利用者社会見学会(藻岩山ロープウェイ)	ワーク
"	利用者社会見学会「坂本九思い出記念館20周年記念コンサート」(栗山町)	エイト
27日	就労移行支援プログラム(SST)	セルブ
29日	北海道立向陽学院「職員交流会」	陽だまり
30日	調理実習	ワーク
"	利用者社会見学会(札幌市青少年科学館)	セルブ
31日	第41回ボランティア・カーニバル	
9月 1日	インターンシップ受入(北海道文教大学)	エイト
~5日		
5日	総合防災訓練(夜間)	エルフィン(自治会)
11日	総合防災訓練	セルブ
12日	総合防災訓練	やまはな(セルブ)
13日	利用者社会見学会(円山動物園)	エルフィン(自治会)
15日	第2回「歩こう会」(野幌森林公園)	陽だまり
"	温泉風入浴会及び食事会	ワーク
19日	監事監査(山崎監事)	法人本部、エイト
20日	調理実習	ワーク
9月24日	北広島市西の里小学校「総合学習(車椅子体験実習)」	クリーナース、地域福祉推進室
27日	利用者社会見学会(ウトナイ湖)	ワーク
27日	自治会旅行(洞爺湖方面)	セルブ
~28日		

開催日	行事・事業内容
10月 2日	税務調査(澁谷税理士)
12日	秋の一斉清掃(西の里広栄町内会主催) エルフィン自治会
"	第3回「歩こう会」(エルフィンロード) 陽だまり
13日	温泉風入浴会及び食事会 ワーク
14日	北広島市就労情報交換会 クリーナース
15日	総合防災訓練 法人本部、北広島全施設
"	総合防災訓練 ワーク
"	クリーンデー(施設構内環境整備運動) セルフ
21日	ホーム長講話 陽だまり
21日	定期健康診断・有機溶剤特殊健康診断 北広島施設
~23日	定期健康診断・有機溶剤特殊健康診断 北広島施設
23日	クリーンデー(施設構内環境整備運動) エイト・印刷事業部・法人本部
25日	調理実習 ワーク
"	利用者社会見学会(北海道大学総合博物館) セルフ
30日	就労移行支援プログラム(S S T) セルフ
31日	棚卸状況内部監査 おおぞら工場、リネン管理倉庫
"	自治会懇談会 エイト、エルフィン
11月 1日	利用者社会見学会(大滝きのこ王国) ワーク
3日	温泉風入浴会及び食事会 ワーク
4日	定期健康診断・有機溶剤特殊健康診断 ワーク、セルフ、やまはな
7日	棚卸状況内部監査 エイト工場、北一丁目倉庫
10日	自主避難訓練 陽だまり
13日	棚卸状況内部監査 セルフ
14日	監事監査(山崎監事) クリーナース、おおぞら、エルフィン、陽だまり
"	永年勤続顕彰並びに資格取得者等表彰祝賀会
15日	就労支援プログラム(S S T 講習会) ワーク
17日	北海道 運営指導監査
"	総合防災訓練(地震・火災) エイト
18日	中間監査(田中監事) 北広島施設、法人本部
20日	煤払い清掃(クリーニング工場) クリーナース
"	冬期間転倒防止体操会 クリーナース
"	総合防災訓練 陽だまり
21日	北海道 児童自立生活援助事業等運営指導監査 陽だまり

開催日	行事・事業内容	
11月21日	中間監査(田中監事)	ワーク、セルフ
22日	調理実習	セルフ
24日	温泉風入浴会及び食事会	ワーク
26日	就労移行支援プログラム(SST)	セルフ
28日	自治会懇談会	エイト、エルフィン
29日	調理実習	ワーク
12月 3日	防災教室	エルフィン
6日	就労支援プログラム(SST講習会)	ワーク
10日	不在者投票(衆議院議員選)	エイト
13日	忘年会	エルフィン自治会
"	就労支援プログラム(SST講習会)	ワーク
19日	クリスマス会	陽だまり
20日	自治会主催「クリスマス会」	セルフ
"	調理実習	ワーク
23日	クリスマス会	ワーク
26日	自治会懇談会	エイト、エルフィン
1月 5日	仕事初めの儀	法人本部、北広島施設、札幌施設
"	成人の祝い	
12日	就労支援プログラム(SST講習会)	ワーク
"	温泉風入浴会及び食事会	ワーク
16日	新年会(施設内)	エイト自治会
17日	調理実習	ワーク
"	雪まつり会	陽だまり
"	新年会(アサヒビール園)	おおぞら、クリーニング事業部
19日	北海道 社会福祉施設等に係る指導監査	エイト
30日	自治会懇談会	エイト
31日	そば打ち会・餅つき会	セルフ
"	ミラクルマジックショー	ワーク
2月 3日	節分(豆まき)	ワーク、陽だまり
6日	針供養	セルフ
7日	就労支援プログラム(SST講習会)	ワーク
17日	北海道赤十字血液センター	法人本部
21日	調理実習	ワーク

開催日	行事・事業内容
2月26日	就労移行支援プログラム(SST) セルプ
27日	自治会懇談会 エイト、エルフィン
28日	利用者社会見学会(札幌ドーム) ワーク
"	トートバッグ縫製・調理実習 セルプ
3月 3日	ひなまつり 陽だまり
3日 ~5日	定期健康診断・有機溶剤特殊健康診断 北広島施設、札幌施設
6日	総合防災訓練 セルプ
7日	就労支援プログラム(SST講習会) ワーク
16日	総合防災訓練 やまはな
18日	総合防災訓練 クリナース、おおぞら、地域福祉推進室、クリーニング事業部
"	新規利用者説明会 セルプ
19日	福祉車両贈呈式(日本財団) ワーク
21日	調理実習 ワーク
23日	監事監査(山崎監事) ワーク、セルプ
25日	エルフィン自治会「総会」 エルフィン
"	自治会懇談会 エイト
26日	就労支援プログラム(SST講習会) セルプ
27日	運営懇談会(地域関係者) 陽だまり
"	自治会懇談会 エルフィン
28日	ピアノ演奏会 ワーク
"	ゲーム大会 セルプ

6 . 主な来所者(施設見学)の内訳

来所日	来 所 者	人 数
4月14日	北広島市「市民後見人養成研修」 受講生・職員(おおぞら)	23名
15日	社会福祉法人北海道博愛舎 職員(ワーク)	5名
18日	医療法人社団幾生会 三笠の杜病院 職員(ILFイン)	4名
22日	北海道 石狩振興局(北広島施設)	4名
26日	NPO法人地域生活支援ネットワークサロン カムイ 職員(陽だまり)	2名
5月 2日	医療法人社団五風会 きよサポ 職員・利用者(セルフ)	3名
〃	北海道中央児童相談所・北海道立向陽学院 職員(陽だまり)	7名
16日	キャリアバンク 株式会社(障害者元気スキルアップ事業) 職員(おおぞら・エイト)	3名
17日	医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病院 職員(おおぞら)	10名
26日	上幌向地区 岩見沢市民生委員児童委員協議会 職員(エイト)	3名
28日	札幌市立月寒中学校 特別支援学級 3年生・保護者・教職員(セルフ)	15名
6月13日	社会福祉法人北ひろしま福祉会 グリーンパーク北ひろ 職員(ILFイン)	2名
19日	札幌市立真栄中学校 特別支援学級 3年生・教職員(セルフ)	12名
24日	医療法人社団健心会 桑園病院 くわの実 利用者・職員(セルフ)	15名
26日	北海道札幌稲穂高等支援学校 教職員(エイト)	2名
30日	学校法人札幌国際大学 短期大学部 学生(陽だまり)	2名
7月 2日	札幌市立北白石中学校 特別支援学級 1～3年生・保護者・教職員(セルフ)	17名
〃	札幌市立清田中学校 特別支援学級 1～2年生・保護者・教職員(セルフ)	6名
3日	札幌市立月寒中学校 1～2年生・教職員(セルフ)	18名
7日	北海道 保健福祉部 福祉局 施設運営指導課 職員(セルフ)	6名
10日	社会福祉法人天寿会 しおさい 職員(おおぞら・エイト・ILFイン)	6名
11日	北海道教育大学付属札幌小・中学校 特別支援学級 保護者・教職員(おおぞら・エイト)	26名
14日	札幌市立美しが丘小学校 2年生・教職員(ワーク)	18名
15日	北海道小樽高等支援学校 1年生・教職員(おおぞら・ILFイン)	83名
〃	社会福祉法人更葉園 職員(ワーク・セルフ)	12名
16日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 3年生・保護者・教職員(セルフ)	16名
17日	岩見沢市 第9方面民生委員児童委員協議会 職員(クナス・おおぞら・エイト)	20名
24日	北海道労働局 札幌東公共職業安定所 職員(おおぞら)	5名
8月 1日	北海道真駒内養護学校 教職員(ワーク)	8名
4日	学校法人東日本学園 北海道医療大学 臨床福祉学科 1年生・教職員(おおぞら・エイト)	12名
28日	札幌市立羊丘中学校 特別支援学級 1～3年生・保護者・教職員(おおぞら・ILFイン)	26名

来所日	来 所 者	人 数
8月28日	株式会社ニック 職員(おおぞら)	11名
"	北海道高等聾学校 2年生・教職員(セルフ)	25名
29日	北海道立向陽学院 職員(陽だまり)	5名
9月 3日	北海道札幌稲穂高等支援学校 2年生・教職員(おおぞら・エイト・エルフィン)	65名
"	新ひだか町三石身体障害者福祉協会 職員(おおぞら)	30名
5日	北広島市立大曲中学校 大空学級 1～3年生・教職員(セルフ)	14名
9日	札幌市教育研究推進事業 白石区特別支援教育研究 教職員(セルフ)	38名
12日	NPO法人コラボ・ネットワーク ワークサポートサンスマイル 職員(クリーナー)	2名
17日	北海道白樺高等養護学校 1年生・教職員(おおぞら)	10名
"	北海道白樺高等養護学校 1年生・教職員(セルフ)	21名
19日	北海道新篠津高等養護学校 P T A・教職員(エルフィン)	36名
22日	札幌市立西岡北中学校 3年生・保護者・教職員(セルフ)	6名
25日	北海道白樺高等養護学校 生活科 1年生・教職員(おおぞら・エイト・エルフィン)	24名
"	北海道白樺高等養護学校 2年生・教職員(セルフ)	8名
26日	菊水地区 民生委員児童委員協議会 職員(エイト)	30名
10月 1日	札幌市東月寒中学校支援学級 3年生・教職員(セルフ)	12名
2日	社会福祉法人みなみ会 相談室みなみ 職員(セルフ)	2名
"	北海道千歳高等支援学校 1年生・教職員(エイト)	34名
7日	北海道雨竜高等養護学校 教職員(セルフ)	2名
"	特定非営利活動法人ほっとらんど 職員(クリーナー・おおぞら)	2名
"	斜里町 議会議員(おおぞら)	6名
8日	北海道札幌高等養護学校 教職員(セルフ)	2名
9日	北海道高等養護学校 教職員(セルフ)	2名
"	北海道千歳高等支援学校 P T A・教職員(エイト)	21名
10日	学校法人東日本学園 北海道医療大学 学生(陽だまり)	1名
15日	学校法人北海道尚志学園 北海道薬科大学 2年生(セルフ)	4名
17日	キャリアバンク(株) 職員・利用者(セルフ)	2名
20日	北海道北広島市立東部中学校 いなほ学級 3年生(エイト)	4名
21日	札幌市陵陽中学校 支援学級生徒・教職員・保護者(セルフ)	22名
"	北海道札幌養護学校 教職員・P T A(エイト・おおぞら・エルフィン)	30名
25日	医療法人健心会 桑園病院精神科デイケア 相談員(セルフ)	2名
27日	NPO法人苫小牧市手をつなぐ育成会 職員(エルフィン)	3名

来所日	来 所 者	人 数
10月30日	札幌市立あやめ野小学校 教職員(セルフ)	1名
31日	静岡県磐田市 市議会議員(エイト・おおぞら)	7名
"	北海道家庭学校 理事(陽だまり)	1名
11月 5日	韓国慶州市 議員(セルフ)	12名
"	札幌市立東月寒中学校 教職員(セルフ)	2名
"	恵庭肢体不自由児者 親の会(エイト)	7名
6日	北海道北広島西高等学校 1年生・教職員(エイト・おおぞら)	160名
7日	北海道高等盲学校 1年生・教職員(セルフ)	4名
"	北海道北広島西高等学校 1年生・教職員(エイト・おおぞら)	160名
13日	札幌市八条中学校支援学級 3年生・教職員・保護者(セルフ)	27名
25日	社会福祉法人響会 草笛館 職員(セルフ)	1名
12月 1日	北海道札幌高等養護学校 2年生・教職員(セルフ)	6名
3日	札幌市豊平消防署 署員(セルフ)	2名
4日	北海道中札内高等養護学校 教職員(セルフ)	2名
5日	社会福祉法人札幌報恩会 / 就業・生活相談室しんさっぽろ(おおぞら、エイト)	4名
"	(株)マイナビ 就職希望者合同企業見学会 就職希望者(エイト)	25名
8日	北海道高等養護学校 1年生・職員 (クリーナース)	9名
10日	札幌圏域複数事業所連携事業 福祉施設職員(エイト)	12名
11日	学校法人池上学園 池上グローバルアカデミー専門学校 教職員(ワーク)	1名
15日	北海道伊達高等養護学校 教職員(セルフ)	2名
17日	特定非営利活動法人たねっと Chip 職員・利用者家族(エイト・エルフィン)	5名
1月15日	社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会 秋田ワークセンター(エイト)	7名
"	北海道新篠津高等養護学校 教職員(ワーク)	2名
23日	NPO法人札幌障害者活動支援センター 元気ジョブ 職員(セルフ)	1名
29日	北海道大沼学園・北海道向陽学院 職員(陽だまり)	2名
2月 4日	(株)メイプルアカウンティングサービス メープル調剤薬局(おおぞら)	3名
17日	公益財団法人北海道YMCA 札幌YMCA英語・コミュニケーション専門学校 2年生・教職員(セルフ)	4名
18日	北海道向陽学院 児童・職員(陽だまり)	3名
24日	特定非営利活動法人ほっとらんど 教職員・実習希望者(クリーナース)	2名
3月 3日	デリカ食品(株)、新日本ウエックス(株)札幌営業所 職員(クリーナース)	2名
4日	キャリアバンク(株) 職員(セルフ)	1名
10日	NPO法人札幌チャレンジド 職員(セルフ)	3名
13日	社会福祉法人せらび千歳地域生活支援センター 職員 (株)ドン・リースアンドレンタル千歳物流センター 実習希望者・職員	3名

来所日	来 所 者	人 数
3月24日	特定非営利活動法人ほっとらんど 実習希望者・職員(クリーナーズ)	2名
"	医療法人社団五風会 きよサポ 利用希望者・保護者・職員	4名
25日	(株)紀鳳産業、(株)ベネック札幌営業所 職員(クリーナーズ)	3名
26日	北海道新篠津高等養護学校 1年生・保護者(エルフィン)	2名
27日	(株)きむらクリーニング 職員(おおぞら)	2名
合 計		1364名

7. 職場実習(受入れ)状況

実習日	実習者	実習施設	人数
4月 2日～ 4日	一般社会人	セルフ	1名
4日	北海道稲穂高等支援学校 3年生	セルフ	1名
5月 7日	北広島市立西の里中学校 陽香分校 2年生	おおぞら	1名
7日～ 9日	一般社会人	セルフ(やまはな)	1名
13日～ 16日	社会福祉法人恵庭光風会 恵庭光と風の里 利用者	おおぞら	1名
23日・27日	一般社会人	おおぞら	1名
6月 5日	一般社会人	エイト	1名
12日～ 13日	北海道立向陽学院 入所者	陽だまり	1名
16日～ 27日	北海道高等聾学校 3年生	セルフ	1名
22日～ 24日	北海道立向陽学院 入所者	陽だまり	1名
23日	北海道室蘭養護学校 3年生	おおぞら	1名
23日～ 7月4日	北海道千歳高等支援学校 2年生	おおぞら・エイト	1名
30日～ 7月4日	一般社会人	おおぞら	1名
〃	札幌市立真栄中学校 3年生	ワーク	1名
〃	札幌市立月寒中学校 特別支援学級 3年生	セルフ	3名
〃	札幌市立清田中学校 特別支援学級 3年生	セルフ	2名
7月 1日～ 4日	北海道室蘭養護学校 高等部 3年生	おおぞら、エイト、ワーク、エルフィン	1名
7日～ 11日	札幌市立月寒中学校 特別支援学級 3年生	セルフ	3名
11・14・15日	一般社会人	おおぞら	1名
14日～ 18日	学校法人池上学園 池上学園グローバルアカデミー専門学校 社会生活学科 1・2年生	おおぞら	4名
16日	北広島市立西の里中学校 普通・特別支援学級 2年生	おおぞら・エイト	3名
22日～ 31日	社会福祉法人札幌報恩会 利用者	おおぞら	1名
23日～ 24日	社会福祉法人岩内厚生園 利用者	陽だまり	1名
28日～ 29日	北海道白樺高等養護学校 2年生	セルフ	1名
28日～ 30日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 2年生	おおぞら	1名
28日～ 31日	社会福祉法人北ひろしま福祉会 就労センタージョブ	おおぞら	1名
28日～ 8月1日	北海道白樺高等養護学校 2年生	おおぞら	1名
28日～ 8月8日	学校法人美芸学園 美芸学園専門学校 こども心理学科 2年生	ワーク	1名
29日～ 31日	セルフさっぽろ(就労継続支援B型利用者)	エルフィン	1名
8月 4日～ 9日	北海道札幌養護学校 高等部 3年生	エイト	1名
7日～ 8日	北海道札幌高等養護学校 1年生	セルフ	1名

実習日	実 習 者	実習施設	人 数
8月 11日	北海道小樽高等支援学校 2年生	セルブ	1名
9月 1日～5日	一般社会人	クリーナース	1名
"	北海道札幌稲穂高等支援学校 3年生	おおぞら	1名
"	北海道札幌市立豊明高等養護学校 3年生	ワーク	1名
1日～12日	北海道新篠津高等養護学校 3年生	おおぞら	1名
"	北海道札幌高等養護学校 3年生	セルブ	2名
1日～26日	北海道白樺高等養護学校 3年生	おおぞら	1名
"	北海道伊達高等養護学校 3年生	おおぞら	1名
8日～12日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 2・3年生	エイト	2名
"	北海道札幌稲穂高等支援学校 3年生	ワーク	1名
8日～19日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 3年生	セルブ	3名
"	北海道札幌市立豊明高等養護学校 2年生	セルブ(やまはな)	2名
15日～26日	北海道伊達高等養護学校 3年生	エルフィン	1名
16日～19日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 2年生	おおぞら	1名
"	北海道札幌稲穂高等支援学校 3年生	エイト	1名
"	リハビリー・おおぞら(就労継続支援B型利用者)	エイト	1名
17日	北広島市立西の里中学校 陽香分校 2年生	おおぞら	1名
22日～10月3日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 3年生	セルブ	2名
22日～10月10日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 3年生	おおぞら	1名
29日～10月2日	一般社会人	おおぞら	1名
29日～10月3日	北海道岩見沢高等養護学校 2年生	エイト	1名
29日～10月10日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 3年生	おおぞら	1名
"	北海道千歳高等支援学校 2年生	おおぞら・エイト	1名
10月 1日～3日	北海道札幌市豊明高等養護学校 3年生	セルブさっぽろ	2名
"	一般社会人	クリーナース	1名
6日～10日	北海道雨竜高等養護学校 3年生	セルブさっぽろ	1名
14日～17日	札幌市立西岡北中学校 支援学級 3年生	セルブさっぽろ	1名
14日～25日	一般社会人	セルブ(やまはな)	1名
20日～24日	学校法人尚志学園 北海道薬科大学 2年生	セルブさっぽろ	2名
"	札幌市立西岡北中学校支援学級 3年生	セルブさっぽろ	2名
20日～24日	一般社会人	エイト	1名
22日～28日	北広島市立東部中学校いなほ学級 3年生	エイト	2名
"	北広島市立東部中学校いなほ学級 3年生	おおぞら	1名

実習日	実 習 者	実習施設	人 数
10月 27日～31日	学校法人尚志学園 北海道薬科大学 2年生	セルプさっぽろ	2名
27日～11月1日	一般社会人	おおぞら	1名
11月 3日～7日	一般社会人	おおぞら	1名
4日～7日	札幌市立東月寒中学校 支援学級 3年生	セルプさっぽろ	3名
7日	北広島市立西の里中学校 陽香分校 2年生	おおぞら	1名
10日～14日	一般社会人	おおぞら	1名
"	一般社会人	おおぞら	1名
10日～14日	一般社会人	エイト	1名
11日～14日	札幌市立東月寒中学校 支援学級 3年生	セルプさっぽろ	2名
17日～21日	一般社会人	おおぞら	1名
19日～21日	一般社会人	おおぞら	1名
20日	札幌市立東月寒中学校 3年生	セルプさっぽろ	3名
"	札幌市立羊丘中学校 3年生	セルプさっぽろ	3名
"	札幌市立平岡中央中学校 1年生	ワーク	4名
21日	札幌市立陵陽中学校 2年生	セルプさっぽろ	3名
12月 1日～12日	北海道札幌市豊明高等養護学校 3年生	セルプさっぽろ	1名
2日～19日	北海道伊達高等養護学校 3年	エイト	1名
3日～4日	北海道旭川児童相談所 一般児童	陽だまり	1名
8日～12日	一般社会人	エイト	1名
8日～19日	学校法人池上学院 池上学院グローバルアカデミー専門学校 3年生	エイト	3名
"	学校法人池上学院 池上学院グローバルアカデミー専門学校 1年生	おおぞら	2名
"	学校法人池上学院 池上学院グローバルアカデミー専門学校 2年生	ワーク	3名
24日	北海道札幌市豊明高等養護学校 2年生	セルプさっぽろ	1名
1月 7日	北海道札幌市豊明高等養護学校 2年生	セルプさっぽろ	1名
13日	一般社会人	セルプさっぽろ	1名
13日～16日	北海道札幌養護学校 高等部 3年生	エイト	1名
14日	北海道札幌養護学校 高等部 1年生	セルプさっぽろ	1名
"	北海道札幌市豊明高等養護学校 2年生	セルプさっぽろ	1名
19日～23日	北海道室蘭養護学校 3年生	おおぞら	1名
19日～23日	北海道室蘭養護学校 3年生	エルフィン	1名
28日～30日	一般社会人	エイト	1名
"	一般社会人	エルフィン	1名

実習日	実 習 者	実習施設	人 数
1月 28日～30日	北海道岩見沢高等養護学校 既卒生	エイト	1名
2月 23日～25日	北海道向陽学院 児童	陽だまり	1名
3月 2日～5日	公益財団法人北海道YMCA 札幌YMCA英語・コミュニケーション専門学校 1年生	セルフ(やまはな)	3名
25日	北海道小樽高等支援学校 1年生	セルフさっぽろ	1名
3月 25日～27日	北海道白樺高等養護学校 1年	エイト	1名
27日	一般社会人	セルフさっぽろ	1名
合 計			142名

8. 施設設備整備実施報告

8-1 実施状況総括表

金額単位：千円(税抜)

(1) リハビリー・クリーナース

年度計画		計画に対する実施		計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額(実施率)	件数	実施金額	件数	実施金額
1	12,000					0	0

(2) リハビリー・おおぞら

年度計画		計画に対する実施		計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額(実施率)	件数	実施金額	件数	実施金額
1	6,000	1	4,900 (81.7%)			1	4,900

(3) リハビリー・エイト

年度計画		計画に対する実施		計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額(実施率)	件数	実施金額	件数	実施金額
1	2,600	1	1,978 (76.1%)			1	1,978

(4) 札幌ワークセンター

年度計画		計画に対する実施		計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額(実施率)	件数	実施金額	件数	実施金額
2	15,500	1	3,976 (72.3%)			1	3,976

(5) セルプさっぽろ

年度計画		計画に対する実施		計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額(実施率)	件数	実施金額	件数	実施金額
1	2,900	1	2,600 (89.7%)			1	2,600

(6) その他(クリーニング事業部、法人本部)

年度計画		計画に対する実施		計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額(実施率)	件数	実施金額	件数	実施金額
5	17,200	4	11,290 (65.6%)	3	7,084	7	18,374

(7) 総 計

年度計画		計画に対する実施		計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額(実施率)	件数	実施金額	件数	実施金額
11	56,200	8	24,744 (44.0%)	3	7,084	11	31,828

< 内補助金申請予定額 >

年度計画		計画に対する実施		計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額(実施率)	件数	実施金額	件数	実施金額
1	5,500	1	2,450			1	2,450

随意契約によることができる基準額(工事:250万円、物品:160万円)を超える実施事業

8-2 事業所拠点別実施状況

(1) リハビリー・クリーナース

< 更新 >

単位：千円(税抜)

事業名	予算計上額	実施額	未実施額	完了
全自動水洗脱水機の更新(2台)	12,000		12,000	
更新事業 合計	12,000	0	12,000	0.0% (実施率)

当該機器業者による再調査の結果、修理対応で長期使用が可能との見解から見送った

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(リハビリー・クリーナース) 合計	12,000	0	12,000	0.0%

(2) リハビリー・おおぞら

< 更新 >

単位：千円(税抜)

事業名	予算計上額	実施額	未実施額	完了
大型乾燥機の更新	6,000	4,900		9月
更新事業 合計	6,000	4,900	0	81.7% (実施率)

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(リハビリー・おおぞら) 合計	6,000	4,900	0	81.7%

(3) リハビリー・エイト

< 新規 >

単位：千円(税抜)

事業名	予算計上額	実施額	未実施額	完了
Windowsデータ交換システムの導入	2,600	1,978		7月
新規事業 合計	2,600	1,978	0	76.1% (実施率)

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(リハビリー・エイト) 合計	2,600	1,978	0	76.1%

(4) 札幌ワークセンター

< 改造・改修 >

単位：千円(税抜)

事業名	予算計上額	実施額	未実施額	完了
建物外壁等の改修工事	10,000		10,000	
改造・改修事業 合計	10,000	0	10,000	0.0% (実施率)

補修内容を見直し、設計事務所による設計を行って実施することにした。

< 新規 >

単位：千円(税抜)

事業名	予算計上額	実施額	未実施額	完了
送迎用バスの導入 (日本財団助成金事業 2,450千円)	5,500	3,976		3月
新規事業 合計	5,500	3,976		72.3% (実施率)

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(札幌ワークセンター) 合計	15,500	3,976	10,000	25.7%

(5) セルプさっぽろ

< 更新 >

単位：千円(税抜)

事業名	予算計上額	実施額	未実施額	完了
ドライ回収乾燥機の更新	2,900	2,600		10月
更新事業 合計	2,900	2,600		89.7% (実施率)

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(セルプさっぽろ) 合計	2,900	2,600		89.7%

(6) その他(クリーニング事業部、法人本部)

< 改造・改修 >

単位：千円(税抜)

事業名	予算計上額	実施額	未実施額	完了
厨房内暖房設備の改修工事 (法人本部)	4,000	3,480		11月
改造・改修事業 合計	4,000	3,480		87.0% (実施率)

< 更新 >

単位：千円(税抜)

事業名	予算計上額	実施額	未実施額	完了
営業車両の更新(2台) (クリーニング事業部)	3,200	2,942		8月・10月
食器洗浄機の更新 (法人本部)	2,000	1,780		10月
消防ポンプ用自家発電機の更新(1) (法人本部)	4,000		4,000	
サーバー機及びクライアントPCの更新 (法人本部)	4,000	3,088		8月
更新事業 合計	13,200	7,810	4,000	59.2% (実施率)

1 クリーナーズ老朽改築と合わせて実施する予定のため見送った。

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(その他) 合計	17,200	11,290	4,000	65.6%

< 計画外(クリーニング事業部、法人本部 事務局) >

単位：千円(税抜)

事業名	予算計上額	実施額	未実施額	完了
集配車両の更新 (クリーニング事業部)	-	2,896		6月
2号井戸二重ケーシング工事 (法人本部)	-	2,700		9月
送迎用車両の導入(おおぞら) (法人本部)	-	1,488		3月
クリーニング排水 原水槽移設工事 (法人本部)	-		77,500	H27.8 完了予定
計画外事業 合計	-	7,084	77,500	-

9. 組織図



10. 利用者等状況報告

10-1 利用者・従業員数

(平成27年 3月31日)

	利 用 者							従 業 員(内福祉事業職員)					合 計	
	生活介護	就労移行	就労継続A型	就労継続B型	共同生活援助	児童自立生活援助	小計	(前年度比)	正職員	嘱託職員	契約職員	小計		(前年度末比)
(1) リハビリ・クリーナース			14	25			39	2	23 (9)	1 (0)	26 (3)	50 (12)	2 (0)	89
(2) リハビリ・おおぞら		3	28	67			98	16	38 (15)	1 (0)	34 (5)	73 (20)	-3 (2)	171
(3) リハビリ・エイト	44	5		36			85	9	55 (25)		11 (3)	66 (28)	-3 (2)	151
(4) 札幌ワークセンター	60			17			77	13	11 (11)		6 (6)	17 (17)	0 (0)	94
(5) セルプさっぽろ		7	6	89			102	10	11 (11)		9 (8)	20 (19)	-1 (-1)	122
(6) エルフィンホーム					26		26	1	1 (1)		1 (1)	2 (2)	0 (0)	28
(7) 陽だまり						5	5	2		1 (1)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	7
(8) ポプルス											1 (1)	1 (1)	1 (1)	1
総 計	104	15	48	234	26	5	432	53	139 (72)	3 (1)	89 (28)	231 (101)	-4 (4)	663
(前年度比)	12	2	10	26	1	2	53		1 (12)	-2 (-3)	-3 (-5)	-4 (4)		49

備考 1 パート職員は、163名(クリーナースのクリーニング取次店要員及びおおぞらのハウスキーパー等を含む。)

2 附属診療所、法人本部及び事業部の従業員数は、各事業所(施設)の人数に振り分けている。